SONY

サポート情報は、VAIOカスタマーリンクホームページへ

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

ワイヤレスデジタルオーディオ

VGF-WA1
取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1

使い方のご相談、技術的なお問い合わせは
VAIOカスタマーリンクへ
● 0466-30-3000

http://www.sony.co.jp/

3-094-116-**01** (1)

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

本書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

➡

❶ 電源コードをコンセントから抜く
❷ 電源コードや接続ケーブルを抜く
❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

本書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

アース線を接続せよ

プラグをコンセントから抜く

目次

次のページにつづく

その他　51

困ったときは　71

付属の説明書について

本機には、以下の説明書が付属しています。

- **取扱説明書（本書）**：本機の取扱情報を記載しています。
- **おまかせ設定ガイド**：本機の接続と準備の方法を記載しています。

本書で使われているイラストについて

本書で使われているイラストや画面は、実際のものと異なる場合があります。

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

指定されたACアダプタや接続ケーブルを使う

この説明書に記載されているACアダプタや接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

電源コードをACアダプタに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。

長時間使用しないときは電源コードを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いてください。

むやみに内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、ケースやカバーをむやみに開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。

次のページにつづく

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

禁止

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために電源プラグを抜いてください。また雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

本機は日本国内専用です

指示

交流100Vでお使いください。海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

お子さまの手の届かない場所に設置してください

指示

はずれた部分を飲み込むなど、思わぬ事故の原因になり危険です。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

直射日光のあたる場所や車内、熱機具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

ぬれた手でACアダプターをさわらない

ぬれた手でACアダプターを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

接続するときは電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切って、電源コードを電源コンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続コードを使う

取扱説明書に記されている電源コードや接続コードを使わないと、感電の原因となることがあります。

大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- 密閉されたせまい場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度も充分にお確かめください。

お手入れの際は電源を切ってプラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

次のページにつづく

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

移動させるときは電源コードや接続コードを抜く

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

コネクタはきちんと接続する

- コネクタ（接続端子）の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。
- アース線のあるコネクタには必ずアースを接続してください。

設置や移動時に本機をひきずらない

本機の設置や移動は本機を持ち上げて行ってください。

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

本機を病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くに設置しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

他の機器に電波障害を引き起こす場所に設置しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

通電中の本機やACアダプターに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

接触禁止

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

指示

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で十分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

禁止

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

禁止

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

⊕と⊖の向きを正しく入れる

指示

⊕と⊖を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

指示

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

電波法に基づく認証について

本製品に内蔵のワイヤレスLANカード及びワイヤレスアダプタは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機内蔵のワイヤレスLANカードまたはワイヤレスアダプタを分解／改造すること
- 本機内蔵のワイヤレスLANカードまたはワイヤレスアダプタに貼られている証明ラベルをはがすこと

無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

2.4DS/OF4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティについて

ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
詳細については、下記のWebサイトをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security_wirelesslan.html

ワイヤレスLAN機能について

本機内蔵のワイヤレスLAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会(旧JEIDA)のパソコン基準(PC-11-1988)に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。
しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示)

著作権について

- 本機で録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機の保証条件については、同梱の当社所定の保証書をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

商標について

- VAIOはソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media、およびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Adobe、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステム社)の登録商標です。
- LIVE365.COMは、LIVE365.comの商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

こんなことができます

本機は、ネットワークを通じて、コンピュータに保存している音楽やウェブラジオなどを再生できるワイヤレスデジタルオーディオです。高品質なスピーカーで音楽を楽しめます。
以下の4つのファンクションで音楽を楽しめます。

コンピュータに保存している音楽を聞く（PCミュージックファンクション）

お手持ちのコンピュータに保存している音楽ファイルを、ワイヤレスLANを通じて本機で再生できます。

ウェブラジオを聞く（ウェブラジオファンクション）

サービス事業者（Live365）が提供するウェブラジオ（インターネット上のラジオ番組）を聞けます。
インターネットに接続しているコンピュータにワイヤレスアダプタで接続したり、アクセスポイントに接続したりして利用します。

外部機器の音楽を聞く（外部機器入力ファンクション）

ウォークマンなどの外部機器を本機と接続すると、外部機器で再生した音楽を本機のスピーカーから出力できます。

内蔵メモリーに保存している音楽を聞く（内蔵メモリーファンクション）

本機の内蔵フラッシュメモリー（128 MB）に保存している音楽ファイルを再生できます。
お買い上げ時にはサンプル楽曲が入っています。
コンピュータに保存している音楽ファイルをPCミュージックファンクションで再生中、その音楽ファイルを本機にダウンロードできます。

次のページにつづく

音楽を楽しむための便利な機能

本機は、音楽をより快適に楽しめるように、さまざまな機能を備えています。

ブラウズ機能

お好みのコンテンツを簡単に見つけて再生できるよう、コンテンツの一覧を表示できます。

コンテンツとは？

- 本機で再生することができる、コンピュータに保存されている音楽ファイル、ウェブラジオのラジオ局、内蔵メモリーにダウンロードされた音楽ファイルのことを「コンテンツ」と呼びます。

タイマー機能

スリープタイマー

コンテンツを再生中に、一定時間が経つと自動でスタンバイモードに入るように設定できます。

オンタイマー

開始・終了時刻、曜日、お好みのコンテンツを指定して、再生を自動で始めるように設定できます。オンタイマーは2種類まで設定できます。

サウンド設定

本機は、楽曲のジャンルやお好みに応じて、以下のように音質や音響効果を設定して再生できます。

設定	効果
ダイナミックノーマライザー（D-ノーマライザー）	楽曲ごとの音量レベルの差が少なくなるよう、再生中に自動調整します。音量の異なる複数の楽曲を再生するときでも、快適に音楽が楽しめます。
ダイナミックバスブースト（D-バスブースト）	楽曲の重低音を強調し、迫力ある音質にします。
6バンドイコライザー	音楽のジャンルなどに合わせて、お好みの音質に設定できます。
VPT ワイドステレオ	VPT（Virtual Phone Technology）を応用し、左右のスピーカーユニットの間隔を仮想的に広げて、ステレオ感を豊かにします。
デジタルリニアフェーズ（D-リニアフェーズ）	スピーカーの中高域の位相特性や周波数特性を補正して、楽器やボーカルなどの定位感や奥行き感をより豊かにします。

動作環境

本機に接続して使用できるコンピュータ

本機と接続してお使いいただくためコンピュータには、以下の環境が必要です。

<table>
<tr><td rowspan="3">コンピュータ</td><td colspan="2">IBM PC/AT互換機</td></tr>
<tr><td colspan="2">• CPU：Celeron 1.00GHz以上
• ハードディスクの空き容量：1.2GB以上
（お使いのWindowsのバージョンや扱う音楽ファイルの量に比例して空き容量が必要になります。）
• RAM：256 MB以上</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>• CDドライブ（WDMによるデジタル再生機能に対応しているドライブ）
• サウンドボード
• USBポート</td></tr>
<tr><td>OS</td><td colspan="2">下記、日本語版標準インストールのみ
Windows XP SP2/Windows Vista</td></tr>
<tr><td>ディスプレイ</td><td colspan="2">ハイカラー（16ビットカラー）以上、800×600ドット以上（1,024×768ドット以上推奨）</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="2">ウェブラジオを利用する場合は、インターネットへの接続環境</td></tr>
</table>

上記のOS以外のOS、自作PC、標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境、マルチブート環境、マルチモニター環境、Macintoshでの動作は保証いたしません。

ご注意

- 推奨環境のすべてのコンピュータについて動作を保証するものではありません。
- Windows XPのNTFSフォーマットは、標準インストール（お買い上げ時）でのみお使いいただけます。
- すべてのコンピュータに対して、システムサスペンド、スタンバイ状態、休止状態などの動作を保証するものではありません。

次のページにつづく

連携ソフトウェア

サーバー

– VAIO Media Integrated Server Ver.6.0*
– Windows Media Connect 2.0
– Windows Media Player 11

* 付属のCD-ROMに収録されているVAIO Media Integrated Server Ver.6.0では、一部の機能がお使いいただけない可能性があります。VAIO Update、もしくは以下のWebページからアップデートを行い、VAIO Media Integrated Serverを最新の状態にしてお使いください。
VAIOカスタマーリンク製品別サポート情報：http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/acc/vgf-wa1.html

サーバーとは？

- コンピュータに保存されているコンテンツを配信するソフトウェアを「サーバー」と呼びます。使用するサーバーによって、再生できるファイル形式が異なります。詳しくは、「再生とダウンロードのファイル形式」（69ページ）をご覧ください。

楽曲管理ソフト

– SonicStage Ver.4.2*
– SonicStage Ver.4.3
– Windows Media Player 10
– Windows Media Player 11

* Windows Vista搭載コンピュータをお使いの場合は、付属のCD-ROMに収録されているSonicStage Ver.4.2では一部の機能がお使いいただけません。VAIO Update、もしくは以下のWebページからアップデートを行い、SonicStageを最新の状態にしてお使いください。
VAIOカスタマーリンク製品別サポート情報：http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/acc/vgf-wa1.html

アクセスポイント接続ツール

本機のネットワーク設定（アクセスポイント接続の設定）をします。

ワイヤレスアダプタマネージャー

ワイヤレスアダプタ（付属）で接続時、ワイヤレスデジタルオーディオの登録やインターネット接続設定をします。

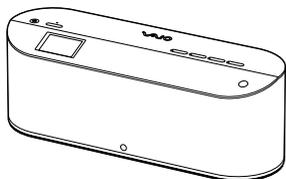
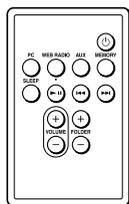
連携ソフトウェアのサポート情報について

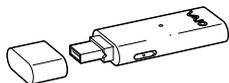
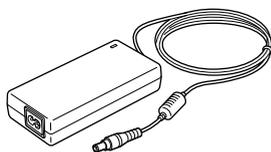
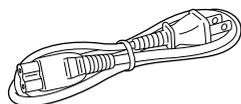
VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）で、連携ソフトウェアのサポート情報を掲載しています。

ご注意

- コンピュータの性能や使用環境によって、動作に制限事項が生じる場合があります。
- VAIO Media Integrated ServerおよびSonicStageの最新情報は、VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）でご確認ください。
- Windows Media ConnectおよびWindows Media Player 11の最新情報は、マイクロソフト社のホームページでご確認ください。

付属品を確かめる

❑ 本体

❑ リモコン

❑ ワイヤレスアダプタ

収録されているソフトウェア
- ワイヤレスアダプタおまかせ設定
- ワイヤレスアダプタマネージャー

❑ ACアダプター

❑ 電源コード

❑ USBケーブル

❑ 専用ワイヤレスアダプタ接続補助ケーブル

❑ おまかせ設定CD-ROM

収録されているソフトウェア
- Sonic Stage Ver.4.2
- VAIO Media Integrated Server Ver.6.0
- Windows Media Connect 2.0
- ワイヤレスアダプタおまかせ設定
- ワイヤレスアダプタマネージャー
- アクセスポイント接続ツール
- Adobe Reader

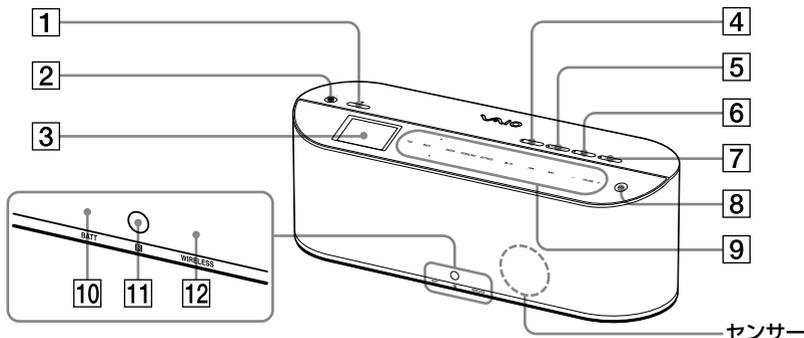
❑ 取扱説明書（本書）

❑ おまかせ設定ガイド

❑ 保証書

❑ カスタマー登録のお願い

各部のなまえ

本機上面

1 ⏻（POWER）ボタン／ランプ
ボタンを押すと、ランプが緑に点灯し、電源が入ります。
電源が入っているときに押すと、ランプが赤く点灯し、スタンバイモードになります。

2 🎧（ヘッドホン）端子
ヘッドホン（別売）を接続します。

3 表示窓（19ページ）
曲のタイトル、設定項目、メッセージを表示します。

4 PCボタン／ランプ
ボタンを押すと、ランプが点灯し、PCミュージックファンクションになります。

5 WEB RADIOボタン／ランプ
ボタンを押すと、ランプが点灯し、ウェブラジオファンクションになります。

6 AUXボタン／ランプ
ボタンを押すと、ランプが点灯し、外部機器入力ファンクションになります。

7 MEMORYボタン／ランプ
ボタンを押すと、ランプが点灯し、内部メモリーファンクションになります。

8 ライトボタン
バックライトが点灯します。

9 操作パネル（21ページ）
電源が入っているとき本機の前に立つと、本機前面に内蔵されているセンサーが反応して、バックライトが点灯します。

10 BATTランプ
内蔵電池の状態を示します（36ページ）。

11 リモコン受光部

12 WIRELESSランプ
ランプの状態で、ワイヤレスLANの状態を示します。

点灯：ワイヤレスLAN電源が起動しています。
点滅：ワイヤレスLAN接続処理を行っています。
消灯：ワイヤレスLAN電源が起動していません。

表示窓

再生画面やブラウズ画面、設定画面、メッセージなどを表示します。
ファンクションによって、再生画面の表示が変わります。

PCミュージック／内蔵メモリーファンクションのとき

再生中に操作パネルの△/▽を押すと、経過時間表示（初期設定）とスペクトラムアナライザー表示を切り替えることができます。

ちょっと一言

- スペクトラムアナライザー表示は、ファンクションを切り替えたり、スタンバイモードにしたりすると、自動的に経過時間表示に戻ります。

経過時間表示（初期設定）

スペクトラムアナライザー表示

1 **曲番／総再生曲数**

2 **トラック名**

3 **アーティスト名**

4 **アルバム名**

5 **ワイヤレスLAN信号の強さ**
PCミュージックファンクションのとき、接続しているネットワークの信号の強さを表します。アンテナの周りに表示されている波紋の数が多いほど、信号が強いことを表します。

→ → →

再生中にサーバーから再生データを取得しているときは、点滅します。

6 **オンタイマー（48ページ）**

7 **スリープタイマー（48ページ）**

8 **プログレスバー**

9 **再生の状態**

10 **再生経過時間**

11 **ダイナミックノーマライザー（45ページ）**

12 **ダイナミックバスブースト（45ページ）**

13 **エフェクト(6バンドイコライザー／VPTワイドステレオ／デジタルリニアフェーズ)（46、47ページ）**

14 **再生モード(40、45ページ)**

15 **スペクトラムアナライザー**
周波数ごとの音の高低をリアルタイムに表示します。

次のページにつづく

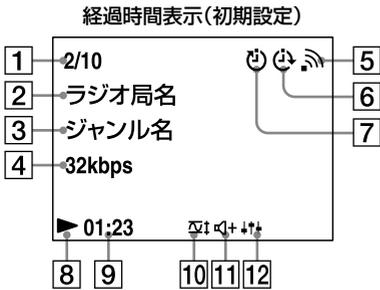
ウェブラジオファンクションのとき

再生中に操作パネルの△/▽を押すと、経過時間表示(初期設定)とスペクトラムアナライザー表示を切り替えることができます。

ちょっと一言

- スペクトラムアナライザー表示は、ファンクションを切り替えたり、スタンバイモードにしたりすると、自動的に経過時間表示に戻ります。

経過時間表示(初期設定)

スペクトラムアナライザー表示

1 ラジオ局番号/総ラジオ局数

2 ラジオ局名

3 ジャンル名

4 転送ビットレート

5 ワイヤレスLAN信号の強さ
接続しているネットワークの信号の強さを表します。アンテナの周りに表示されている波紋の数が多いほど、信号が強いことを表します。

→ → →

6 オンタイマー (48ページ)

7 スリープタイマー (48ページ)

8 再生の状態

9 再生経過時間

10 ダイナミックノーマライザー (45ページ)

11 ダイナミックバスブースト (45ページ)

12 エフェクト(6バンドイコライザー/VPTワイドステレオ/デジタルリニアフェーズ)(46、47ページ)

13 スペクトラムアナライザー
周波数ごとの音の高低をリアルタイムに表示します。

外部機器入力ファンクションのとき

1 ダイナミックノーマライザー (45ページ)

2 ダイナミックバスブースト (45ページ)

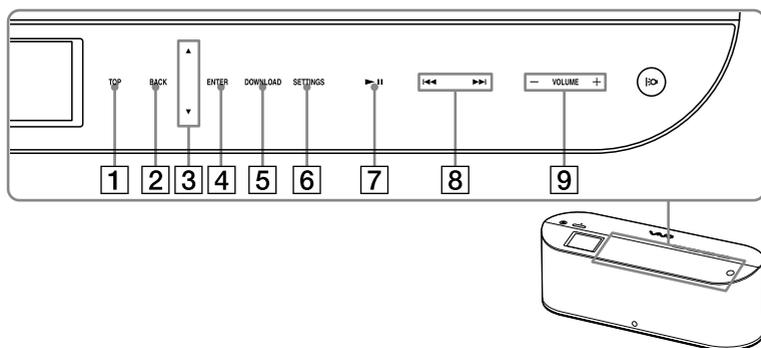
3 エフェクト(6バンドイコライザー/VPTワイドステレオ/デジタルリニアフェーズ)(46、47ページ)

4 オンタイマー (48ページ)

5 スリープタイマー (48ページ)

ご注意

- 外部機器入力ファンクション時は、操作パネルの△/▽を押してもスペクトラムアナライザー表示には切り替わりません。

操作パネル

本機の前に立つと、本機前面に内蔵されているセンサーが反応して、バックライトが点灯します。

1 TOP（トップ）
再生できる曲やラジオ局を一覧表示します（ブラウズ機能）。

2 BACK（バック）
前の画面に戻ります。

3 △/▽
ブラウズモードや設定モードでは、カーソルを上下に移動します。
再生画面では、表示内容を切り替えます。

4 ENTER（エンター）
選択している項目を決定します。

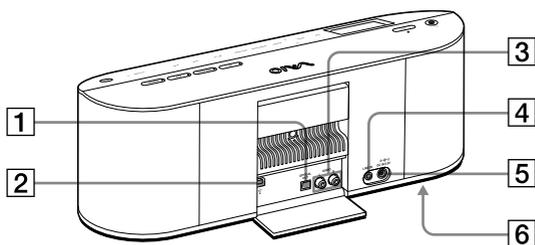
5 DOWNLOAD（ダウンロード）
PCミュージックファンクションで再生中の曲を、本機の内蔵メモリーにダウンロードします。

6 SETTINGS（セッティングズ）
設定項目を表示します（54ページ）。

7 ►II
PCミュージック／ウェブラジオ／内蔵メモリーファンクション時に、コンテンツを再生または一時停止します。

8 I◄◄/►►I
PCミュージック／内蔵メモリーファンクション時に、再生中の曲や、前後の曲の頭出しをします。押したままにすると、再生中の曲の早戻し／早送りをします。
ウェブラジオファンクション時に、前後のラジオ局に切り替えます。
ブラウズモードでは、前後のページに切り替えます。

9 VOLUME +/–（ボリューム）
音量を調節します。

背面

1 OPTICAL（オプティカル） OUT（アウト）端子
光ケーブル（別売）で、光入力端子のある外部機器と接続します。

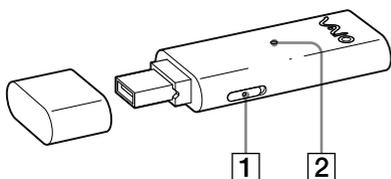
2 USB端子
ソフトウェアを使って本機を設定するときに使用します。付属のUSBケーブルでコンピュータと接続します。

3 LINE（ライン） OUT（アウト）端子
外部機器の音声入力端子と接続します。

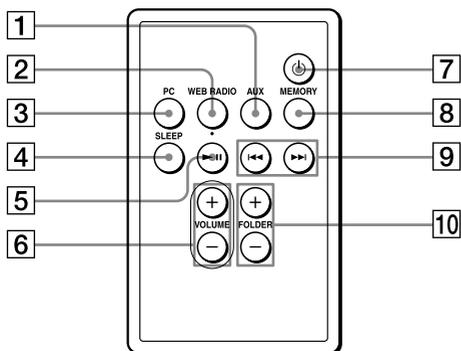
4 AUX端子
外部機器と接続します（42ページ）。

5 DC IN 16V端子
付属のACアダプターを接続します。

6 BATTERY（バッテリー）スイッチ（底面）
内蔵電池を使用するときにONにします（36ページ）。

ワイヤレスアダプタ

1 AUTO（オート） INSTALL（インストール）スイッチ
ワイヤレスアダプタには、ソフトウェアが収録されています。このスイッチをONにして、コンピュータのUSB端子に差し込むと、ソフトウェアのインストーラーが自動的に起動します（28ページ）。
ソフトウェアをインストールした後は、通常、OFFの状態で使用します。

2 WIRELESS（ワイヤレス）ランプ
ランプの状態で、コンピュータとの接続状況を表します。
点灯：コンピュータに接続しています。
点滅：コンピュータと通信しています。
消灯：コンピュータに接続していません。

リモコン

1 **AUXボタン**
外部機器入力ファンクションになります。本機のAUXボタンと同じ働きをします。

2 **WEB RADIO（ウェブ ラジオ）ボタン**
ウェブラジオファンクションになります。本機のWEB RADIOボタンと同じ働きをします。

3 **PCボタン**
PCミュージックファンクションになります。
本機のPCボタンと同じ働きをします。

4 **SLEEP（スリープ）ボタン**
スリープタイマー機能（48ページ）を設定します。押すたびに、以下のように設定を切り替えます。

「切」→「30分」→「45分」→「60分」→「90分」→「切」…

5 **▶IIボタン**
PCミュージック／ウェブラジオ／内蔵メモリーファンクション時に、コンテンツを再生または一時停止します。
本機の操作パネルの▶IIと同じ働きをします。

6 **VOLUME（ボリューム） +/–ボタン**
音量を調節します。
本機の操作パネルのVOLUME+/–と同じ働きをします。

7 **⏻（POWER（パワー））ボタン**
押すと電源が入ります。
電源が入っているときに押すと、スタンバイモードになります。
本機の ⏻（POWER）ボタンと同じ働きをします。

8 **MEMORY（メモリー）ボタン**
内部メモリーファンクションになります。
本機のMEMORYボタンと同じ働きをします。

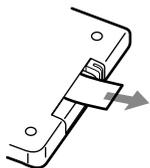
9 **I◀◀/▶▶Iボタン**
PCミュージック／内蔵メモリーファンクション時に、再生中の曲や、前後の曲の頭出しをします。押したままにすると、再生中の曲の早戻し／早送りをします。
ウェブラジオファンクション時に、前後のラジオ局に切り替えます。
本機の操作パネルのI◀◀/▶▶Iと同じ働きをします。

10 **FOLDER（フォルダ） +/–ボタン**
再生中の曲が含まれているフォルダや、前後のフォルダの頭出しをします。

次のページにつづく

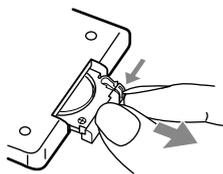
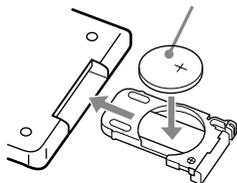
リモコンの準備をする

絶縁シートを引き抜いてリモコンを使用できる状態にする。

リモコンには電池がすでに入っています。

電池の交換について

電池が消耗してくると、リモコンで操作できる距離が短くなります。

下記の手順で、電池を新しいものと交換してください。ふつうの使いかたで約6か月もちます。

1 電池ケースを取り出す。

2 ＋と書かれた面を上にしてリチウム電池CR2025を新しい電池と取り換える。

3 電池ケースを元に戻す。

ご注意

- リモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。

接続と準備の概要

本機とコンピュータの接続について

本機とコンピュータを接続するには、以下の2つの方法があります。

- 付属のワイヤレスアダプタを使って接続する
- お持ちのアクセスポイント経由で接続する

ご注意

- 本機は、アクセスポイントを使わないワイヤレスLANのアドホックモード(ピアトゥピアモード)には対応していません。

付属のワイヤレスアダプタを使って接続する

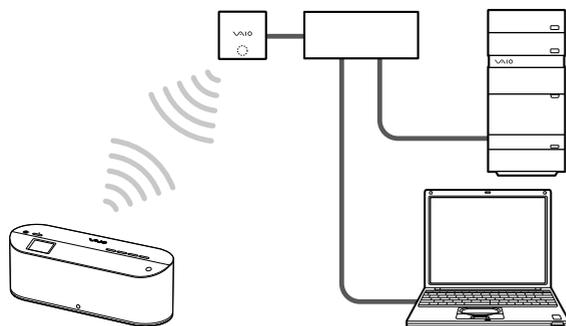
アクセスポイントを使ったワイヤレスLANの環境がない場合、付属のワイヤレスアダプタをコンピュータに接続すると、本機とコンピュータをワイヤレス接続できます。
決まったコンピュータと接続して本機を使いたい場合に適した方法です。

ご注意

- 付属のワイヤレスアダプタでは、本機以外の機器とコンピュータを接続することはできません。
- コンピュータがインターネットに接続していない場合、ウェブラジオは再生できません。

お持ちのアクセスポイント経由で接続する

すでにワイヤレスLANの環境がある場合、アクセスポイントを経由して本機とコンピュータをワイヤレス接続できます。
複数のコンピュータと接続して本機を使いたい場合に適した方法です。

次のページにつづく

準備の流れ

本機と接続するコンピュータの種類および本機とコンピュータの接続方法によって、準備の流れが異なります。

1. 電源につなぐ

付属のACアダプターを使って、本機を電源につなぎます。

2. 本機を使うために必要なソフトウェアのインストールや設定をする

本機と接続するコンピュータおよび本機とコンピュータの接続方法によって、準備の流れが異なります。

- 付属のワイヤレスアダプタを使って準備する
- 付属のCD-ROMを使って準備する

付属のワイヤレスアダプタを使って準備する

本機と接続して使用するコンピュータがWindows Vista搭載ソニーバイオシリーズコンピュータで、本機とコンピュータの接続方法が付属のワイヤレスアダプタで接続する場合は、付属のワイヤレスアダプタを使って準備します。

付属のCD-ROMを使って準備する

本機と接続して使用するコンピュータがWindows Vista搭載ソニーバイオシリーズコンピュータ以外のコンピュータの場合は、付属のCD-ROMを使って準備します。

3. コンピュータの準備をする

本機と接続して使用するコンピュータ側の準備をします。

ご注意

- 本機と接続して使用するコンピュータを再セットアップ(リカバリ)した場合は、接続と準備をやり直す必要があります。

1 電源につなぐ

1 付属のACアダプターで、本機と壁のコンセントをつなぐ。

POWERランプが赤色で点灯します。

ご注意

- 本機の準備をしている間は、ACアダプターをはずさないでください。故障の原因になります。

2 本機を使うために必要なソフトウェアのインストールや設定をする

A 付属のワイヤレスアダプタを使って準備する

本機と接続して使用するコンピュータがWindows Vista搭載ソニーバイオシリーズコンピュータで、本機とコンピュータを付属のワイヤレスアダプタで接続する場合は、付属のワイヤレスアダプタを使って準備します。
付属のワイヤレスアダプタに収録されているおまかせ設定を使って、本機を使うために必要なソフトウェアのインストールや設定を行います。

1 ワイヤレスアダプタのAUTO INSTALLスイッチをONにする。

2 ワイヤレスアダプタをコンピュータのUSB端子に差し込む。

自動的におまかせ設定が起動します。

ちょっと一言

- お使いのコンピュータにワイヤレスアダプタを直接差し込めないときは、専用ワイヤレスアダプタ接続補助ケーブルを使って接続してください。

3 画面の指示に従って、操作する。

注意事項をよくお読みください。

B 付属のCD-ROMを使って準備する

本機と接続して使用するコンピュータがWindows Vista搭載ソニーバイオシリーズコンピュータ以外のコンピュータの場合は、付属のCD-ROMを使って準備します。
付属のCD-ROMに収録されているおまかせ設定を使って、本機を使うために必要なソフトウェアのインストールや設定を行います。

ご注意

- おまかせ設定の画面で指示があるまで、コンピュータにワイヤレスアダプタを差し込まないでください。
- おまかせ設定の画面で指示があるまで、本機とコンピュータをUSBケーブルでつながないでください。

1 コンピュータで起動中の他のプログラムはすべて終了する。

下記の条件を満たしていることを確認してからステップ2に進んでください。下記の条件を満たしていないと、うまくインストールできないことがあります。

- 管理者の権限を持ったユーザー（Administrator）としてログオンしていること。
- ウィルスチェックソフトも終了していること（メモリを大幅に消費するため）。

2 コンピュータのCDドライブに付属のCD-ROMを入れる。

自動的におまかせ設定が起動します。

3 画面の指示に従って、操作する。

注意事項をよくお読みください。

ご注意

- おまかせ設定でVAIO Media Integrated ServerをVer.6.0にアップデートした場合、VAIO Media Integrated Serverを使って、ホームネットワークでデジタル放送録画コンテンツを視聴する前に、VAIO Updateまたは以下のソフトウエアのアップデートが必要になります。
  - デジタル放送対応DTCP-IP 拡張モジュール
  - Digital Broadcast Contents Importer
  - StationTV Digital for VAIO

  ソフトウエアのアップデートについては、以下のWebページをご参照ください。
  VAIOカスタマーリンク製品別サポート情報：http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/acc/vgf-wa1.html

次のページにつづく

3 コンピュータの準備をする

本機と接続して使用するコンピュータの設定を行います。

VAIO Media Integrated Serverをお使いの場合

おまかせ設定を使ってVAIO Media Integrated Server設定を行った場合は、このステップは不要です。

ご注意

- 付属のCD-ROMに収録されているVAIO Media Integrated Server Ver.6.0では、一部の機能がお使いいただけない可能性があります。VAIO Update、もしくは以下のWebページからアップデートを行い、VAIO Media Integrated Serverを最新の状態にしてお使いください。
  VAIOカスタマーリンク製品別サポート情報：http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/acc/vgf-wa1.html
- Windows Vista搭載コンピュータをお使いの場合は、付属のCD-ROMに収録されているSonicStage Ver.4.2では一部の機能がお使いいただけません。VAIO Update、もしくは以下のWebページからアップデートを行い、SonicStageを最新の状態にしてお使いください。
  VAIOカスタマーリンク製品別サポート情報：http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/acc/vgf-wa1.html
- おまかせ設定を使ってVAIO Media Integrated Server設定を完了しなかった場合は、VAIO Media Integrated Serverの設定プログラム「VAIO Mediaの準備」を起動し、必要な設定を行ってください。

Windows Media Connectをお使いの場合

本機でコンテンツを再生するために、Windows Media Connectを起動し、本機をコンテンツ配信先として登録します。

1 本機がPCミュージックファンクションで起動していることを確認する。

PCランプが点灯し、表示窓には、「サーバー選択」の画面が表示されています。

ご注意

- アクセスポイント経由で接続する場合、コンピュータとつないでいるUSBケーブルをはずすと、本機は、自動的に再起動します。ワイヤレスLAN接続を完了するまでしばらくお待ちください。
- おまかせ設定のアクセスポイント接続設定を正常に完了しなかったときは、再起動してもワイヤレスLAN接続を行いません。アクセスポイント接続ツールを起動して、ネットワーク設定をやり直してから、Windows Media Connect設定を行ってください。

2 コンピュータの画面で、[スタート]メニューから[プログラム]—[Windows Media Connect]の順にクリックする。

Windows Media Connectをインストール後、初めて起動すると、Windows Media Connectウィザードが表示されます。

ちょっと一言

- すでにインストールしてあるWindows Media Connectを起動した場合は、メイン画面が表示されます。

3 本機のMACアドレスを確認する。

本機のSETTINGSを押して設定に入り、「機器情報」—「MACアドレス」の順に選びます。

4 コンピュータの画面で、本機に該当するデバイスを選ぶ。

本機に該当するデバイスには、ステップ3で確認したMACアドレスが表示されています。

本機に該当するデバイスが表示されないときは、[次へ]をクリックして、ステップ6に進んでください。ステップ7まで完了したら、Windows Media Connectのメイン画面を開いて、デバイスを登録してください。

5 [許可]をクリックする。

該当するデバイスの状態が、「拒否」から「許可」に変わります。

6 フォルダの共有設定を選ぶ。

7 [完了]をクリックする。

Windows Media Connectのメイン画面

メイン画面では、画面左部の次のボタンをクリックして、設定を行うことができます。

[デバイス]　コンテンツにアクセスするデバイスを登録します。
[共有]　デバイスに配信するコンテンツが保存されているフォルダを指定します。
[設定]　コンピュータの起動時に自動的にWindows Media Connectを起動して配信を開始するかどうかを設定します。

より詳しく知るには

より詳しい操作・設定については、Windows Media Connectのヘルプをご覧ください。メイン画面の[ヘルプ]をクリックすると、ヘルプを開くことができます。

Windows Media Player 11をお使いの場合

本機でコンテンツを再生するために、Windows Media Player 11を起動し、本機をコンテンツ配信先として登録します。

1 本機がPCミュージックファンクションで起動していることを確認する。

PCランプが点灯し、表示窓には、「サーバー選択」の画面が表示されています。

ご注意

- アクセスポイント経由で接続する場合、コンピュータとつないでいるUSBケーブルをはずすと、本機は、自動的に再起動します。ワイヤレスLAN接続を完了するまでしばらくお待ちください。
- おまかせ設定のアクセスポイント接続設定を正常に完了しなかったときは、PCミュージックファンクションを起動してもワイヤレスLAN接続を行いません。アクセスポイント接続ツールを起動して、ネットワーク設定をやり直してから、Windows Media Player 11設定を行ってください。

2 コンピュータの画面で、[スタート]メニューから[プログラム]—[Windows Media Player]の順にクリックする。

Windows Media Playerを起動すると、Windows Media Playerのメイン画面が表示されます。

3 [同期]—[その他のオプション]の順にクリックする。

「オプション」画面が表示されます。

4 「ライブラリ」のタブをクリックする。

5 [共有の構成]をクリックする。

「メディアの共有」画面が表示されます。

6 「メディアを共有する」のチェックボックスをクリックして、チェック(✓)をつける。

7 [OK]をクリックする。

ちょっと一言

- [OK]をクリックした後、「ユーザーアカウント制御」のメッセージウィンドウが表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

8 本機のMACアドレスを確認する。

本機のSETTINGSを押して設定に入り、「機器情報」−「MACアドレス」の順に選びます。

9 コンピュータの画面で、本機に該当するデバイスを選ぶ。

10 [許可]をクリックする。

該当するデバイスの状態が、「拒否」から「許可」に変わります。

ちょっと一言

- [フォルダの監視]をクリックすると、フォルダの共有設定をすることができます。

11 [OK]をクリックする。

より詳しく知るには

より詳しい操作・設定については、Windows Media Player 11のヘルプをご覧ください。メイン画面の[ヘルプ]をクリックすると、ヘルプを開くことができます。

操作の流れ

1. 電源を入れる

2. ファンクションを選択する

再生したいコンテンツに応じて、ファンクションを選択します。

- **コンピュータに保存している音楽を聞く（PCミュージックファンクション）** → 37ページ
- **ウェブラジオを聞く（ウェブラジオファンクション）** → 41ページ
- **外部機器の音楽を聞く（外部機器入力ファンクション）** → 42ページ
- **内蔵メモリーに保存してある音楽を聞く（内蔵メモリーファンクション）** → 42ページ

3. コンテンツを選択する

PCミュージック／ウェブラジオ／内蔵メモリーファンクション時は、ブラウズ機能を使って、一覧から再生するコンテンツを選べます。

4. コンテンツを再生する

電源を入れる

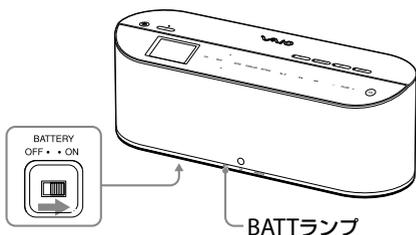
1 電源を準備する（27ページ）。

2 本機またはリモコンの ⏻ （POWER）ボタンを押す。

POWERランプが緑色に点灯します。

ちょっと一言

- 本機またはリモコンのPCボタンやWEB RADIOボタン、AUXボタン、MEMORYボタンを押すと、直接そのファンクションで電源を入れられます。

内蔵電池を使う

1 ACアダプターをはずした状態で、BATTERYスイッチをONにする。

内蔵電池で本機が動作します。
内蔵電池の残量によって、BATTランプの状態が次のように変化します。

点灯→ゆっくり点滅→早く点滅→消灯

内蔵電池の残量がなくなると、BATTランプが消灯し、表示窓に「電池残量がありません」と表示され、スタンバイモードになります。再生中やダウンロード中になくなると、再生やダウンロードを一時停止します。

ご注意

- 表示窓に「電池残量がありません」と表示されているときは、⏻ （POWER）ボタン以外の操作を受け付けません。
- 内蔵電池の使用可能時間は、約4時間です（電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています）。ただし、本機を使用する状況によって異なります。

ちょっと一言

- 内蔵電池で本機が動作中にACアダプターを接続すると、ACアダプターでの動作に切り替わります。このとき、同時に内蔵電池が充電されます。

内蔵電池を充電するには

1 BATTERYスイッチをONにする。

2 ACアダプター（付属）で、本機と壁のコンセントをつなぐ。

充電が始まります。充電中は、BATTランプが点滅します。
充電が完了すると、BATTランプが消灯します。

ご注意

- BATTERYスイッチがOFFのとき、ACアダプターを接続しても充電が始まりません。充電時は必ずBATTERYスイッチをONにしてください。
- ACアダプターをはずした状態で、BATTERYスイッチをOFFにすると、時計の設定およびオンタイマーの設定がリセットされます。
- 充電にかかる時間は、本機の使用状態および周囲の温度によって異なります。周囲の温度が +5℃ ～ +35℃内の環境で充電してください。

ちょっと一言

- ACアダプターで本機を使用する場合、または長時間本機を使用しない場合は、BATTERYスイッチをOFFにすることをおすすめします。内蔵電池の寿命をより延ばすことができます。

スタンバイモードにするには

電源が入っているとき、本機またはリモコンの ⏻（POWER）ボタンを押します。
POWERランプが赤色に点灯します。
ACアダプターを接続している状態では、時計が表示されます。

ご注意

- 本機がUSBケーブルでコンピュータと接続中は、⏻（POWER）ボタンは機能しません。
- コンピュータの音楽ファイルを内蔵メモリーにダウンロード中や、内蔵メモリー内の曲を削除／初期化中に ⏻（POWER）ボタンを押すと、その動作を完了してからスタンバイモードになります。
- スタンバイモードのとき、ライトボタンを押しても操作パネルのバックライトは点灯しません。
- ACアダプターで起動中、設定の「各種設定」－「ワイヤレスLAN電源」が「省電力」の場合、⏻（POWER）ボタンを押してスタンバイモードにすると、ワイヤレスLAN電源がOFFになります。
- スタンバイモードのとき、ACアダプターが接続されていない場合は、ワイヤレスLAN電源がOFFになり、表示窓のバックライトが消灯します。

完全に電源を切るには

ACアダプターをはずし、BATTERYスイッチをOFFにします。

コンピュータに保存している音楽を聞く（PCミュージックファンクション）

お手持ちのコンピュータに保存している音楽ファイルを、ワイヤレスLANを通じて本機で再生できます。
本機が接続できるサーバーは、一回の接続につきひとつだけです。
また、再生している音楽ファイルを本機の内蔵メモリーにダウンロードすることもできます（43ページ）。

再生できるファイル形式

- ATRAC3 1)
- ATRAC3plus 1)
- MP3
- WMA 2)
- AAC 1)
- リニアPCM（WAV）

1) サーバーがVAIO Media Integrated Serverのときだけ再生できます。また、音楽配信サービスで入手したコンテンツは再生できません。

2) 著作権保護されている場合は、サーバーがWindows Media ConnectまたはWindows Media Playerのときだけ再生できます。

ご注意

- 接続するサーバーによっては、本機で再生できないファイルもあります。詳しくは、「再生とダウンロードのファイル形式」（69ページ）をご覧ください。

サーバーを選択する

ワイヤレスLANを経由して接続するコンピュータを、サーバーとして設定します。
あらかじめ本機とコンピュータを接続する準備をしてから（25ページ）、以下の操作を行ってください。

1 PCボタンを押す。

PCランプが点灯し、PCミュージックファンクションになります。
設定の「サーバー設定」－「サーバー自動接続」が「入」のとき、前回接続していたサーバーに自動で接続し、前回再生していた曲から再生を始めます。
「サーバー自動接続」が「切」のときや、前回再生していた曲の情報がないとき、サーバー選択画面が表示されます。

2 TOPを押す。

ブラウズモードになります。

3 △/▽で「サーバー選択」を選択し、ENTERを押す。

サーバー切断確認画面が表示されます。

4 △/▽で「OK」を選択し、ENTERを押す。

接続していたサーバーとの接続が切断され、サーバー一覧が表示されます。
サーバー名の横に表示されるアイコンによって、サーバーの種類がわかります。

アイコン	サーバーの種類
表示なし	接続したことがあり、現在起動中のサーバー
▲	接続したことがあり、現在起動していないか、起動しているかどうか判別できなかったサーバー
NEW	接続したことがないサーバー

ちょっと一言

- 接続したことがあり、現在起動していないか起動しているかどうか判別できなかったサーバーについて、「コンピュータを自動的に起動するように設定する」（51ページ）を行っていれば、スタンバイまたは休止状態のコンピューターに接続したとき、自動的に起動するようになります。

5 △/▽で接続したいサーバーを選択し、ENTERを押す。

接続が完了すると、接続したサーバーの一番上のフォルダを表示します。

サーバーの一覧を更新するには

上記ステップ3で「最新情報に更新」を選択し、ENTERを押します。
最新のサーバーを検出し、最新のサーバー一覧が表示されます。

ちょっと一言

- 以前接続したことがあるサーバーの履歴は、過去10個まで保存されます。サーバーの履歴を消すこともできます（次項）。

サーバーの一覧を編集するには

サーバー一覧から、起動していないサーバーや不明なサーバーを削除できます。起動していないサーバーや不明なサーバーが一覧にない場合は、サーバーの削除はできません。

1 PCミュージックファンクション中、SETTINGSを押す。

2 △/▽で「サーバー設定」を選択し、ENTERを押す。

3 △/▽で「サーバー削除」を選択し、ENTERを押す。

接続履歴のあるサーバー一覧が表示されます。

4 △/▽で削除したいサーバーを選択し、ENTERを押す。

ENTERを押すたびに、チェックボックスのチェックの有無が変わります。
「すべてを選択する」を選択してENTERを押すと、すべてのチェックボックスにチェックがつきます。

5 △/▽で「OK」を選択し、ENTERを押す。

チェックをつけたサーバーがすべて削除されます。

ご注意

- 起動中のサーバーは、接続履歴に表示されず、削除できません。

接続するサーバーを毎回手動で選択するには

お買い上げ時の設定では、本機がPCミュージックファンクションに切り替わったとき、最後に接続したサーバーに自動で接続するように設定されています。
PCミュージックファンクションに切り替えるたび、接続するサーバーを選択したいときは、「サーバー自動接続」を「切」にします。

1 SETTINGSを押す。

2 △/▽で「サーバー設定」を選択し、ENTERを押す。

3 △/▽で「サーバー自動接続」を選択し、ENTERを押す。

4 △/▽で「切」を選択し、ENTERを押す。

PCミュージックファンクションに切り替わるたびにサーバー選択画面が表示されるようになります。

一覧から音楽を選ぶ（ブラウズ機能）

指定の曲の先頭に直接移動し、再生を始められます。
ブラウズモードでは、サーバーによって、曲／アーティスト／アルバム／ジャンル／登録したフォルダなど、表示される内容が異なります。
サーバーを選択してきた場合は、ステップ3から操作してください。

1 PCボタンを押す。

PCランプが点灯し、PCミュージックファンクションになります。

2 TOPまたはBACKを押す。

ブラウズモードに入り、再生できる曲の一覧が表示されます。

3 △/▽で再生したい曲を選択し、ENTERを押す。

選択した曲の再生が始まり、再生画面が表示されます。

ご注意

- 本機では、再生できる曲の一覧を並べ替えることはできません。
- ブラウズ中に1分間何も操作しないと、ブラウズモードがキャンセルされます。

ちょっと一言

- ブラウズ中にBACKを押すと、一つ上の階層のエリアが表示されます。
- 再生中にBACKを押すと再生中のエリアが、TOPを押すと一番上の階層のエリアが表示されます。
- ブラウズ中に⏮/⏭を押すと、前後のページに切り替わります。

次のページにつづく

基本操作

こんなときは	操作
再生する	▶❚❚を押す。
一時停止する	再生中に▶❚❚を押す。
早戻しする	❙◀◀ を長押しする。
早送りする	▶▶❙を長押しする。
再生中の曲の頭出しをする	❙◀◀ を1回押す。
前の曲の頭出しをする	再生したい曲になるまで❙◀◀ を繰り返し押す。
次の曲の頭出しをする	再生したい曲になるまで▶▶❙を繰り返し押す。
再生中の曲が含まれているフォルダの頭出しをする	リモコンのFOLDER –ボタンを1回押す。
前のフォルダの頭出しをする	再生したいフォルダになるまで、リモコンのFOLDER –ボタンを繰り返し押す。
次のフォルダの頭出しをする	再生したいフォルダになるまで、リモコンのFOLDER +ボタンを繰り返し押す。
再生画面を切り替える（19ページ）	本体の操作パネルの△/▽を押す。
音量を調節する	VOLUME +/–を押す。

ご注意

- プログレスバーが表示されない音楽ファイルでは、早戻しや早送りはできません。

再生モードについて

再生モードを変更すると、曲を順不同に聞いたり、繰り返して聞いたりするように設定できます。

1 **PCミュージックファンクション中、SETTINGSを押す。**

2 **△/▽で「再生モード」を選択し、ENTERを押す。**

3 **△/▽でお好みの再生モードを選択し、ENTERを押す。**

再生モードの種類／アイコン	説明
通常（初期設定）／表示なし	選んだ曲以降の全曲を、曲一覧の順に1回再生し、一時停止します。
全曲リピート／⮎	再生中の曲を含む再生エリアの曲を順に繰り返し再生します。
1曲リピート／⮎1	再生中の曲を繰り返し再生します。
シャッフル／SHUF	再生中の曲を含む再生エリアの曲を順不同に1回ずつ再生し、一時停止します。
シャッフルリピート／⮎SHUF	再生中の曲を含む再生エリアの曲を順不同に繰り返し再生します。

ちょっと一言

- PCミュージックファンクションの再生モードは、内蔵メモリーファンクションの再生モードとは別に設定できます。

ご注意

- シャッフル再生中、❙◀◀ を押しても前の曲を頭出しできません。再生中の曲の頭出しはできます。
- シャッフル再生中、フォルダはシャッフルされません。

ウェブラジオを聞く（ウェブラジオファンクション）

サービス事業者（LIVE365）が提供するウェブラジオ（インターネット上のラジオ番組）を聞けます。

ご注意

- 接続するコンピュータが起動していないときやインターネットに接続していないときは、ウェブラジオを起動できません。
- 時計を設定していないときは、LIVE365のホームページで編集したラジオ局一覧を取得できません。

1 WEB RADIOボタンを押す。

WEB RADIOランプが点灯し、ウェブラジオファンクションになります。
前回再生していたラジオ局の情報があるときは、そのラジオ局の再生を始めます。
前回再生していたラジオ局の情報がないときは、ブラウズモードに入ります。

一覧からラジオ局を選ぶ（ブラウズ機能）

指定のラジオ局に直接移動し、再生を始められます。

1 **ウェブラジオファンクション中、TOPまたはBACKを押す。**

ブラウズモードに入り、ラジオ局の一覧が表示されます。

2 **△/▽で再生したいラジオ局を選択し、ENTERを押す。**

選択したラジオ局の再生が始まり、再生画面が表示されます。

ご注意

- ブラウズ中に1分間何も操作しないと、ブラウズモードがキャンセルされます。

ちょっと一言

- ブラウズ中に⏮/⏭を押すと、前後のページに切り替わります。

ラジオ局の一覧を更新するには

上記ステップ2で「最新情報に更新」を選択し、ENTERを押します。
最新のラジオ局を検出し、最新のラジオ局一覧が表示されます。

基本操作

こんなときは	操作
再生する	▶IIを押す。
一時停止する	再生中に▶IIを押す。
前のラジオ局に切り替える	再生したいラジオ局になるまで⏮を繰り返し押す。
次のラジオ局に切り替える	再生したいラジオ局になるまで⏭を繰り返し押す。
再生画面を切り替える（19ページ）	本体の操作パネルの△/▽を押す。
音量を調節する	VOLUME +/–を押す。

ご注意

- リモコンのFOLDER +/–ボタンは無効です。

外部機器の音楽を聞く（外部機器入力ファンクション）

ウォークマンなどの外部機器を本機のAUX端子に接続すると、外部機器で再生している音楽を本機のスピーカーから出力できます。

1 本機のAUX端子に外部機器を接続する。

2 AUXボタンを押す。

AUXランプが点灯し、外部機器入力ファンクションになります。

3 外部機器側で再生する。

外部機器が再生している音楽が本機のスピーカーから再生されます。
VOLUME +/– を押して、音量を調節します。

ちょっと一言

- AUX端子につないだ外部機器の出力レベルが大きくて音が割れる場合は、設定の「各種設定」－「外部機器入力感度」で感度を調節できます（55ページ）。

ご注意

- 本体から外部機器を操作することはできません。
- 外部機器と接続するときは、抵抗なしのケーブルをお使いください。

内蔵メモリーに保存している音楽を聞く（内蔵メモリーファンクション）

PCミュージックファンクションで再生している音楽ファイルを、本機の内蔵メモリー（128MB）にダウンロードできます。ダウンロードした音楽ファイルは、コンピュータと接続しなくても再生できます。

デモンストレーションモード

本機には、デモンストレーション用にサンプル楽曲（約3.8MB）がプリインストールされています。
音楽ファイルを内蔵メモリーにダウンロードしていないときに内蔵メモリーファンクションにすると、本機のデモンストレーションが始まります。
音楽ファイルをダウンロードすると、デモンストレーションは始まらなくなります。

ダウンロードできるファイル形式

- ATRAC3
- ATRAC3plus
- MP3
- WMA [1]
- AAC
- リニアPCM（WAV）

[1] 著作権保護されている場合は、ダウンロードできません。

ご注意

- 接続するコンピュータによっては、本機にダウンロードできないファイルもあります。詳しくは、「再生とダウンロードのファイル形式」（69ページ）をご覧ください。

- ファイルによっては、ATRAC3（132kbps）にエンコードしてダウンロードします。このとき、ダウンロードが完了するまでしばらく時間がかかります。

内蔵メモリーに音楽をダウンロードする

PCミュージックファンクションで再生中の音楽を本機の内蔵メモリーにダウンロードできます。

1 PCミュージックファンクション中、音楽を再生する（37ページ）。

2 DOWNLOADを押す。

再生中の曲が一時停止し、本機へのダウンロードが始まります。
ダウンロードが完了すると、一時停止した位置から再生が再開します。

ダウンロードを中断するには

ダウンロード実行中に、DOWNLOADをもう一度押します。途中までダウンロードした音楽ファイルは自動的に削除されます。

ご注意

- 設定中やブラウズ中にはダウンロードできません。

一覧から音楽を選ぶ（ブラウズ機能）

指定の曲の先頭に直接移動し、再生を始められます。

1 MEMORYボタンを押す。

MEMORYランプが点灯し、内蔵メモリーファンクションになります。

2 TOPまたはBACKを押す。

ブラウズモードに入り、本機に保存されている曲の一覧が表示されます。
曲一覧では、ダウンロードした日時が古い順で表示されます。

3 △/▽で再生したい曲を選択し、ENTERを押す。

選択した曲の再生が始まり、再生画面が表示されます。

ご注意

- 本機では、内蔵メモリーの曲順を並べ替えることはできません。
- 内蔵メモリーに曲がないときは、ブラウズモードには入れません。
- 内蔵メモリーに異常があるときは、ブラウズモードには入れません。

ちょっと一言

- ブラウズ中に⏮/⏭を押すと、前後のページに切り替わります。

基本操作

こんなときは	操作
再生する	▶IIを押す。
一時停止する	再生中に▶IIを押す。
早戻しする	⏮を長押しする。
早送りする	⏭を長押しする。
再生中の曲の頭出しをする	⏮を1回押す。
前の曲の頭出しをする	再生したい曲になるまで⏮を繰り返し押す。
次の曲の頭出しをする	再生したい曲になるまで⏭を繰り返し押す。
再生画面を切り替える（19ページ）	本体の操作パネルの△/▽を押す。
音量を調節する	VOLUME +/–を押す。

次のページにつづく

内蔵メモリー内の音楽を削除する

削除したい曲を選んで、まとめて削除できます。

1 **内蔵メモリーファンクション中、SETTINGSを押す。**

2 **△/▽で「内蔵メモリー編集」を選択し、ENTERを押す。**

3 **△/▽で「曲削除」を選択し、ENTERを押す。**

曲名一覧が表示されます。

4 **△/▽で削除したい曲を選択し、ENTERを押す。**

ENTERを押すたびに、チェックボックスのチェックの有無が変わります。
「すべて選択する」を選択してENTERを押すと、すべての曲にチェックがつきます。

5 **△/▽で「OK」を選択し、ENTERを押す。**

チェックをつけた曲がすべて削除されます。

ご注意

- プリインストールされているサンプル楽曲は、1曲ずつ削除することはできません。曲名一覧でサンプル曲を1曲でも選択すると、すべてのサンプル曲にチェックがつきます。

内蔵メモリーを初期化する

内蔵メモリーを初期化すると、すべての曲が削除されます。

1 **内蔵メモリーファンクション中、SETTINGSを押す。**

2 **△/▽で「内蔵メモリー編集」を選択し、ENTERを押す。**

3 **△/▽で「初期化」を選択し、ENTERを押す。**

初期化確認画面が表示されます。

4 **△/▽で「OK」を選択し、ENTERを押す。**

内蔵メモリーが初期化されます。

内蔵メモリーにサンプル楽曲が保存されているときは

上記ステップ4で「OK」を選択した後、サンプル楽曲削除の確認画面が表示されます。「OK」を選択してENTERを押すと、内蔵メモリーが初期化されます。

再生モードについて

再生モードを変更すると、曲を順不同に聞いたり、繰り返して聞いたりするように設定できます。

1 内蔵メモリーファンクション中、SETTINGSを押す。

2 △/▽で「再生モード」を選択し、ENTERを押す。

3 △/▽でお好みの再生モードを選択し、ENTERを押す。

再生モードの種類／アイコン	説明
通常（初期設定）／表示なし	選んだ曲以降の全曲を、曲一覧の順に1回再生し、一時停止します。
全曲リピート／	再生中の曲を含むすべての曲を順に繰り返し再生します。
1曲リピート／1	再生中の曲を繰り返し再生します。
シャッフル／SHUF	再生中の曲を含むすべての曲を順不同に1回ずつ再生し、一時停止します。
シャッフルリピート／SHUF	再生中の曲を含む再生エリアの曲を順不同に繰り返し再生します。

ちょっと一言

- 内蔵メモリーファンクションの再生モードは、PCミュージックファンクションの再生モードとは別に設定できます。

ご注意

- シャッフル再生中、⏮を押しても前の曲を頭出しできません。再生中の曲の頭出しはできます。
- シャッフル再生中、フォルダはシャッフルされません。

サウンド設定

音量レベルを自動的にそろえる（ダイナミックノーマライザー）

楽曲ごとの音量レベルの差が少なくなるよう、再生中に自動調整します。音量の異なる複数の楽曲を再生するときでも、快適に音楽が楽しめます。

1 SETTINGSを押す。

2 △/▽で「サウンド」を選択し、ENTERを押す。

3 △/▽で「D-ノーマライザー」を選択し、ENTERを押す。

4 △/▽で「入」を選択し、ENTERを押す。

ダイナミックノーマライザーが有効になり、再生画面にが表示されます。

重低音を強調する（ダイナミックバスブースト）

楽曲の重低音を強調し、迫力ある音質にします。

1 SETTINGSを押す。

2 △/▽で「サウンド」を選択し、ENTERを押す。

3 △/▽で「D-バスブースト」を選択し、ENTERを押す。

使いかた

次のページにつづく

4 △/▽で「入」を選択し、ENTERを押す。

ダイナミックバスブーストが有効になり、再生画面に🔈+が表示されます。

ご注意

- 以下のとき、ダイナミックバスブーストは設定できません。
  - 設定の「各種設定」－「出力設定」が「ライン／光デジタル」のとき
  - 本機にヘッドホンを差し込んでいるとき

お好みの音質に調整する（6バンドイコライザー）

音楽のジャンルなどに合わせてお好みの音質に設定できます。

1 SETTINGSを押す。

2 △/▽で「サウンド」を選択し、ENTERを押す。

3 △/▽で「エフェクト」を選択し、ENTERを押す。

4 △/▽で「6バンドイコライザー」を選択し、ENTERを押す。

5 △/▽でお好みの音質を選択し、ENTERを押す。

6バンドイコライザーが有効になり、再生画面に🎚が表示されます。

6バンドイコライザー設定項目

設定項目	説明
ヘビー （初期設定）	低域と高域が強調された迫力のある音質になります。
ポップス	中域を強調したボーカルなどに適した音質になります。
ジャズ	低域と高域が強調されて、重厚感のあるメリハリの効いた音質になります。
カスタム1 カスタム2	自分で設定した音質になります。設定方法は以下をご覧ください。

ご注意

- 以下のとき、6バンドイコライザーは設定できません。
  - 設定の「各種設定」－「出力設定」が「ライン／光デジタル」のとき
  - 本機にヘッドホンを差し込んでいるとき

お好みの音質を登録する（カスタム設定）

あらかじめ設定されている音質設定に加えて、お好みの音質を2種類まで登録できます。
カスタム設定では、6つの音域を7段階で設定します。
登録したカスタム設定は、「6バンドイコライザー」の「カスタム1」または「カスタム2」で選択できます。

1 SETTINGSを押す。

2 △/▽で「サウンド」を選択し、ENTERを押す。

3 △/▽で「エフェクト」を選択し、ENTERを押す。

4 △/▽で「6バンドイコライザー」を選択し、ENTERを押す。

5 △/▽で「カスタム1」または「カスタム2」を選択し、ENTERを押す。

6 △/▽で各音域のレベルを設定し、ENTERを押す。

設定できる音域は、100Hz、250Hz、630Hz、1.6kHz、4kHz、10kHzです。それぞれの音域でレベルを、-6dB、-4dB、-2dB、0dB、+2dB、+4dB、+6dBの7段階から選びます。

ステレオ感を強調する（VPTワイドステレオ）

VPT（Virtual Phone Technology）を応用し、左右のスピーカーユニットの間隔を広げてステレオ感を豊かにします。

1 SETTINGSを押す。

2 △/▽で「サウンド」を選択し、ENTERを押す。

3 △/▽で「エフェクト」を選択し、ENTERを押す。

4 △/▽で「VPTワイドステレオ」を選択し、ENTERを押す。

VPTワイドステレオが有効になり、再生画面に(())が表示されます。

ご注意

- 以下のとき、VPTワイドステレオは設定できません。
  - 設定の「各種設定」－「出力設定」が「ライン／光デジタル」のとき
  - 本機にヘッドホンを差し込んでいるとき

スピーカーの音響特性を変える（デジタルリニアフェーズ）

スピーカーの中高域の位相特性や周波数特性を補正して楽器やボーカルなどの定位感や奥行き感をより豊かにします。

1 SETTINGSを押す。

2 △/▽で「サウンド」を選択し、ENTERを押す。

3 △/▽で「エフェクト」を選択し、ENTERを押す。

4 △/▽で「D-リニアフェーズ」を選択し、ENTERを押す。

5 △/▽でお好みのタイプを選択し、ENTERを押す。

デジタルリニアフェーズが有効になり、再生画面にが表示されます。

デジタルリニアフェーズ設定項目

設定項目	説明
タイプA（初期設定）	比較的フラットな特性で、モニタースピーカーのような雰囲気を実現します。ポップスからクラシックまで、幅広いジャンルの曲に適しています。
タイプB	中高域の雰囲気を高めた音作りを実現し、ボーカル中心の曲に適しています。
タイプC	「タイプA」と「タイプB」の中間程度の雰囲気を実現します。

ご注意

- 以下のとき、デジタルリニアフェーズは設定できません。
  - 設定の「各種設定」－「出力設定」が「ライン／光デジタル」のとき
  - 本機にヘッドホンを差し込んでいるとき

タイマー設定

スリープタイマーを使う

指定した時間が経過したら自動的にスタンバイモードに入るように設定できます（スリープタイマー機能）。

1 **お好みのファンクション中、SETTINGSを押す。**

2 **△/▽で「スリープタイマー」を選択し、ENTERを押す。**

3 **△/▽でスタンバイモードに入るまでの残り時間を「30分」、「45分」、「60分」、「90分」から選択し、ENTERを押す。**

スリープタイマーが設定され、再生画面にが表示されます。設定した時間が経過すると、ボリュームが次第に下がってから、自動的にスタンバイモードに入ります。

ちょっと一言

- スリープタイマーは、リモコンのSLEEPボタンでも設定できます。SLEEPボタンを押すたびに、設定時間が以下のように切り替わります。

  「切」→「30分」→「45分」→「60分」→「90分」→「切」…

- スリープタイマーが設定されているときにリモコンのSLEEPボタンを1回押すと、スタンバイモードに入るまでの残り時間が表示されます。もう一度押すと、スリープタイマーが再設定されます。

ご注意

- スリープタイマーの終了時間になる前に、以下の操作を行うと、設定していたスリープタイマーはリセットされます。
  – 電源を切る
  – スタンバイモードに入る
  – USBケーブルでコンピュータと接続する
  – スリープタイマーの時間を設定しなおす
  – スリープタイマーを「切」にする
  – 設定の「各種設定」－「工場出荷時設定」を実行する
  – 設定の「ネットワーク設定」の「アクセスポイント」または「ワイヤレスアダプタ」を実行する（本機が再起動します）
- 本機でスリープタイマーを設定している最中は、リモコンのSLEEPボタンで設定できません。

オンタイマーを使う

指定した時刻にお好みのコンテンツの再生を開始するよう設定できます（オンタイマー機能）。
オンタイマーは2種類まで設定できます。

1 **オンタイマー再生させたいコンテンツを再生中、SETTINGSを押す。**

2 **△/▽で「オンタイマー」を選択し、ENTERを押す。**

3 **△/▽で「タイマー 1」か「タイマー 2」を選択し、ENTERを押す。**

4 **△/▽で「入」を選択し、ENTERを押す。**

オンタイマーの時間設定ウィザード画面が表示されます。

5 △/▽、ENTER、BACKで開始・終了時刻を設定する。

6 △/▽、ENTERで曜日を設定する。

7 △/▽、ENTERで再生コンテンツを設定する。

「はい」を選択すると、再生中のコンテンツをオンタイマー再生するコンテンツに設定します。
「いいえ」を選択すると、以前設定したコンテンツに設定されます。

8 VOLUME +/– で再生音量を調節し、△/▽、ENTERで設定する。

「はい」を選択すると、現在設定してある音量をオンタイマー再生時の音量に設定します。
「いいえ」を選択すると、以前設定した音量に設定されます。
「オンタイマー設定を確定します」と表示されます。

9 △/▽で「OK」を選択し、ENTERを押す。

オンタイマーが設定され、再生画面にが表示されます。

設定した開始時刻の3分前になると、オンタイマー再生の準備状態になります。

ちょっと一言

- 終了時刻を「--:--」に設定すると、終了時刻を設定しません。
- PCミュージックファンクションまたは内蔵メモリーファンクションでオンタイマーを設定している最中は、一時的に再生モードが「1曲リピート」になります。設定を完了すると、元の再生モードに戻ります。
- オンタイマー再生が始まる前に、指定したコンテンツが削除されていたり、呼び出せなかったりした場合、開始時刻にアラームが鳴ります。何かボタンやキーを押すと、アラームが停止します。
- タイマー 1とタイマー 2の時間帯が重なって設定された場合、開始時刻が先に設定されているタイマーが優先して起動します。

ご注意

- 外部機器入力ファンクションでは、オンタイマー機能は使用できません。
- 電源を完全に切ると（37ページ）、オンタイマーの設定がリセットされます。
- オンタイマー開始時刻3分前になったときにすでに電源が入っていた場合、オンタイマーは作動しません。

本機をより便利にお使いただくために

本機とコンピュータをアクセスポイント経由で接続する場合、本機と接続したときにコンピュータが自動的に起動するように設定できます。
また、コンピュータが一定時間後に自動的にスタンバイ状態になるように設定できます。本機から離れた場所にあるコンピュータを自動的に起動したりスタンバイ状態にしたりできるので便利です。

ご注意

- 本機とコンピュータを付属のワイヤレスアダプタを使って接続する場合は、コンピュータを自動的に起動するように設定してもお使いいただけません。

コンピュータを自動的に起動するように設定する

本機をコンピュータに接続することで、コンピュータを「スタンバイ」または「休止」状態から自動的に起動させる機能です。

ご注意

- 本機の電源を入れるだけではコンピュータは起動しません。本機がコンピュータに接続したときに、コンピュータが起動します。
- ノート型コンピュータやワイヤレスLANでインターネットに接続しているコンピュータなど、本機が接続するコンピュータの設定や環境により、この機能が使えない場合があります。
- お使いのコンピュータによっては、自動的に起動するように設定できないことがあります。

Windows XP SP2搭載コンピュータをお使いの場合

1 コンピュータの画面で、[スタート]メニューから[コントロール パネル]－[パフォーマンスとメンテナンス]－[システム]の順にクリックする。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

2 「ハードウエア」のタブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックする。
「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

3 「ネットワークアダプタ」の＋をクリックする。

4 本機が接続されているネットワークデバイス名をダブルクリックする。
「プロパティ」画面が表示されます。

ちょっと一言

- 本機が接続されているネットワークデバイスには、「電源の管理」タブがあります。ネットワークデバイスが複数ある場合、「電源の管理」タブがあるネットワークデバイスを選んでください。

5 「電源の管理」のタブをクリックする。

① 「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」のチェックボックスをクリックして、チェック（✓）をつける。
② 「管理ステーションでのみ、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」のチェックボックスをクリックして、チェック（✓）をつける。

6 [OK]をクリックする。

7 「デバイス マネージャ」画面を閉じ、「システムのプロパティ」画面で[OK]をクリックする。

その他

次のページにつづく

Windows Vista搭載コンピュータをお使いの場合

1 コンピュータの画面で、[スタート]メニューから[コントロール パネル]－[システムとメンテナンス]－[システム]の順にクリックする。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

2 [デバイス マネージャ]をクリックする。

「デバイス マネージャ」画面が表示されます。

ちょっと一言

- [デバイス マネージャ]を選んだときに、「ユーザー アカウント制御」のメッセージウィンドウが表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

3 「ネットワークアダプタ」の＋をクリックする。

4 本機が接続されているネットワークデバイス名をダブルクリックする。

「プロパティ」画面が表示されます。

ちょっと一言

- 本機が接続されているネットワークデバイスには、「電源の管理」タブがあります。ネットワークデバイスが複数ある場合、「電源の管理」タブがあるネットワークデバイスを選んでください。

5 「電源の管理」のタブをクリックする。

① 「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」のチェックボックスをクリックして、チェック(✓)をつける。

② 「管理ステーションでのみ、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」のチェックボックスをクリックして、チェック(✓)をつける。

6 [OK]をクリックする。

7 「デバイスマネージャ」画面を閉じ、「システムのプロパティ」画面で[OK]をクリックする。

コンピュータがスタンバイ状態になるまでの時間を確認する/変更する

コンピュータのスタンバイ状態の設定を確認、変更できます。

接続していたコンピュータが自動的にスタンバイ状態になるようにあらかじめ設定しておけば、本機の電源を切ったあと、離れたところにあるコンピュータを操作せずにすむので便利です。

自動的にスタンバイ状態にならないよう設定すると、本機の電源を切ったあと、接続していたコンピュータを操作して、スタンバイにしたり電源を切ったりする必要があります。

Windows XP SP2搭載コンピュータをお使いの場合

1 コンピュータの画面で、[スタート]メニューから[コントロール パネル]－[パフォーマンスとメンテナンス]－[電源オプション]の順にクリックする。

「電源管理のオプションのプロパティ」画面が表示されます。

2 「電源設定」のタブをクリックする。

3 「システム スタンバイ」または「システム休止状態」で、スタンバイ状態または休止状態に移行するまでの時間を選ぶ。

4 [OK]をクリックする。

ご注意

- スタンバイ状態または休止状態に移行するまでの時間は、[3分後]以上に設定してください。

ちょっと一言

- スタンバイ状態または休止状態に移行するまでの時間を[なし]に設定すると、電源が入ったままになります。

Windows Vista搭載コンピュータをお使いの場合

1 **コンピュータの画面で、[スタート]メニューから[コントロール パネル]－[電源オプション]の順にクリックする。**
「電源オプション」画面が表示されます。

2 **「コンピュータがスリープ状態になる時間を変更」をクリックする。**
「プラン設定の編集」画面が表示されます。

3 **「コンピュータをスリープ状態にする」でスタンバイ状態に移行するまでの時間を選ぶ。**

4 **「プラン設定の編集」画面で、「詳細な電源設定の変更」をクリックする。**
「詳細設定」画面が表示されます。

5 **「スリープ」の＋をクリックしてから、「次の時間が経過後休止状態にする」の＋をクリックする。**

6 **「設定」をクリックする。**

7 **休止状態に移行するまでの時間を選ぶ。**

8 **[OK]をクリックする。**

9 **「プラン設定の編集」画面で、[変更の保存]をクリックする。**

ご注意

- スタンバイまたは休止状態に移行するまでの時間は、「3分後」以上に設定してください。

ちょっと一言

- 「なし」に設定すると、電源が入ったままになります。

設定をする

1 SETTINGSを押す。

設定モードに入り、設定項目が表示されます。

2 △/▽で設定したい項目を選択し、ENTERを押す。

上の階層に戻るときは、BACKを押します。

3 ステップ2を繰り返して、設定を完了する。

設定を途中でやめるには

SETTINGSを押すと設定の第1階層に戻ります。もう一度SETTINGSを押すと、設定画面から抜けます。

設定項目

→ 第1階層	→ 第2階層	備考
再生モード		再生時、曲を順不同に聞いたり、繰り返して聞いたりするように設定します。（40、45ページ）。（初期設定：通常）
サウンド		再生する音声の効果を設定します。（初期設定：通常）
	D-ノーマライザー	楽曲ごとの音量レベルの差が少なくなるよう再生中に自動調整するように設定します（45ページ）。（初期設定：切）
	D-バスブースト	スピーカー再生時、楽曲の重低音を強調し、迫力ある音質にします（45ページ）。（初期設定：切）
	エフェクト	スピーカーの音響効果を以下から切り替えます。 • 切（初期設定） • 6バンドイコライザー（46ページ） • VPTワイドステレオ（47ページ） • D-リニアフェーズ（47ページ）
スリープタイマー		一定時間後に自動でスタンバイモードに入るように設定します（48ページ）。
オンタイマー		指定した時間に再生を始めるように設定します（48ページ）。オンタイマーは2つまで設定できます。
内蔵メモリー編集		内蔵メモリー内の曲を削除したり、初期化したりします。
	曲削除	（44ページ）
	初期化	（44ページ）

→ 第1階層	→ 第2階層	備考
サーバー設定		サーバーへの自動接続の設定や、サーバー履歴の削除ができます。
	サーバー自動接続	PCミュージックファンクションのとき、前回接続したサーバーに自動接続するように設定する（38、39ページ）。（初期設定：入）
	サーバー削除	（38ページ）
ネットワーク設定		ワイヤレスLANによる接続方法を、ワイヤレスアダプタとアクセスポイントのどちらかに設定する（58ページ）。 • ワイヤレスアダプタ（初期設定） • アクセスポイント
各種設定		本機のさまざまな設定を変更します。
	ボタン操作音	ボタンを押したとき音を鳴らすかどうか設定します。（初期設定：入）
	出力設定	音声を、本機のスピーカーとLINE OUT端子／ OPTICAL OUT端子のどちらから出力するかを設定します。 • スピーカー（初期設定） • ライン／光デジタル **ご注意** • スピーカーとLINE OUT端子／ OPTICAL OUT端子の両方に同時には出力できません。 • 本機にヘッドホンを差し込んでいるときは、この設定にかかわらず、ヘッドホンに音声が出力されます。 • 「ライン／光デジタル」を選択しているときは、音量調節はできません。 • OPTICAL OUT端子へ音声を出力しているとき、再生できないコンテンツがあります。 • OPTICAL OUT端子へ音声を出力しているとき、出力された信号は光入力端子のある録音機器（MD/DATなど）ではSCMS（Serial Copy Management System）が働いて録音することができません。
	外部機器入力感度	AUX端子に接続した機器の出力レベルに合わせて、本体の入力感度を調整できます。 • 標準（ウォークマンなどのポータブル機器と接続する場合）（初期設定） • 中 • 低（コンポーネントオーディオなどと接続する場合） **ご注意** • この設定は、外部機器入力ファンクションのときだけ設定できます。
	バックライト	本機の電源が入っているとき、表示窓と操作パネルのバックライトを自動で点灯／消灯するか、常に点灯するか設定します。 • 自動点灯/消灯（キーを操作してから90秒経つと自動的に消灯する。消灯中に本機の前に立ったり本機を操作したりすると自動的に点灯する）（初期設定） • 常時点灯（常に点灯し、消灯しない） **ご注意** • ACアダプターを接続している状態でスタンバイモードのときは、この設定にかかわらず、表示窓のバックライトが常に点灯します。 • USBケーブル接続中は、キーのバックライトは消灯されます。

次のページにつづく

<table>
<tr><th>→ 第1階層</th><th>→ 第2階層</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>各種設定
（つづき）</td><td>コントラスト</td><td>表示窓の表示の濃淡を-3 ～ +3の間の7段階で調整します。（初期設定：0）</td></tr>
<tr><td></td><td>ワイヤレスLAN電源</td><td>ACアダプターが接続されているとき、本機の状態に合わせて、ワイヤレスLAN電源を起動するかどうかを設定します。
• 通電（常に起動する）
• 省電力（本機の電源が入っているときだけ起動する）（初期設定）
ご注意
• ACアダプターが接続されていないときは、この設定にかかわらず「省電力」になります。</td></tr>
<tr><td></td><td>言語</td><td>設定画面、メッセージ表示の言語を設定します。
• 日本語（初期設定）
• English</td></tr>
<tr><td></td><td>時計</td><td>現在の日時を設定します。（初期設定：2007年1月1日12:00AM）</td></tr>
<tr><td></td><td>工場出荷時設定</td><td>すべての設定を初期設定にリセットします。リセット後は、以下の状態で自動的に再起動します。
• 「ネットワーク設定」が「ワイヤレスアダプタ」に設定される。
• ワイヤレスLAN電源が起動し、PCミュージックファンクションになる。
工場出荷時設定を実行した後は、ワイヤレスアダプタ接続のときは、ワイヤレスアダプタマネージャーを使って本機の登録をやり直してください（62ページ）。アクセスポイント接続のときは、アクセスポイント接続ツールを使ってネットワーク設定をやり直してください（60ページ）。
ヒント
• 内蔵メモリーに保存されている曲は削除されません。また、お買い上げ時にプリインストールされていたサンプル楽曲を削除した場合は、この設定を実行してもサンプル楽曲は復活しません。</td></tr>
</table>

→ 第1階層	→ 第2階層	備考
機器情報		本機のネットワーク情報、MACアドレス、ファームウェアのバージョン、デバイスIDを表示します。
	ネットワーク情報	「ネットワーク設定」が「ワイヤレスアダプタ」に設定されているときは、以下の設定を表示します。 • ネットワーク設定 • プロキシ設定 「ネットワーク設定」が「アクセスポイント」に設定されているときは、以下の設定を表示します。 • ネットワーク設定 • ネットワーク名(SSID) • セキュリティ設定 • IPアドレス設定 • IPアドレス／サブネットマスク • デフォルトゲートウェイ • DNSサーバー • 優先DNSサーバー／代替DNSサーバー • プロキシ設定
	MACアドレス	本機のMACアドレスを表示します。
	ファームウェア	本機のファームウエアのバージョンを表示します。
	デバイスID	ウェブラジオで使用するデバイスIDを表示します。

ワイヤレスLANの設定をする

本機とコンピュータをワイヤレス接続する場合、本機のワイヤレスLANを設定します。
アクセスポイント経由で接続する場合のネットワーク設定は、アクセスポイント接続ツールを使って設定することもできます（60ページ）。

ご注意

- 本機上では、プロキシ設定は設定できません。お使いのプロバイダーからプロキシの指定がある場合は、アクセスポイント接続ツールを使って設定してください（60ページ）。

ワイヤレスアダプタ接続にする

1 **SETTINGSを押す。**

2 **△/▽で「ネットワーク設定」を選択し、ENTERを押す。**

3 **△/▽で「ワイヤレスアダプタ」を選択し、ENTERを押す。**

設定値初期化画面が表示されます。

4 **△/▽で「はい」または「いいえ」を選択し、ENTERを押す。**

「はい」を選択すると、ワイヤレスアダプタ接続が初期化され、任意のワイヤレスアダプタに接続できる状態になります。
「いいえ」を選択すると、ワイヤレスアダプタ接続が初期化されず、以前接続したワイヤレスアダプタに接続する状態のままです。
設定確認画面が表示されます。

5 **△/▽で「OK」を選択し、ENTERを押す。**

ネットワーク設定が「ワイヤレスアダプタ」に切り替わります。
本機は、自動的に再起動し、ワイヤレスLAN接続待機状態になります。

ご注意

- ステップ**4**で「はい」を選択した場合は、お使いのワイヤレスアダプタとは接続できなくなります。再度接続するには、ワイヤレスアダプタマネージャーを使って、本機の登録をやり直してください（62ページ）。

アクセスポイント接続にする

1 **SETTINGSを押す。**

2 **△/▽で「ネットワーク設定」を選択し、ENTERを押す。**

3 **△/▽で「アクセスポイント」を選択し、ENTERを押す。**

設定値初期化画面が表示されます。

4 **△/▽で「はい」または「いいえ」を選択し、ENTERを押す。**

「はい」を選択すると、ネットワーク名（SSID）入力画面が表示されます。
「いいえ」を選択すると、設定確認画面が表示されます。ステップ**9**へ進んでください。

5 **△/▽でネットワーク名を候補文字を選択し、ENTERで確定する。**

ネットワーク名（SSID）は、半角英数字が32文字まで入力できます。
セキュリティ設定画面が表示されます。

6 △/▽で「WEP64ビット」、「WEP128ビット」、「WPA-PSK TKIP」、「WPA2-PSK AES」、「なし」のいずれかを選択し、ENTERを押す。

「WEP64ビット」、「WEP128ビット」、「WPA-PSK TKIP」、「WPA2-PSK AES」を選択すると、暗号キーを入力できます。暗号キーは16進数で設定します。

暗号キー	入力可能文字数
WEP64ビット	10文字
WEP128ビット	26文字
WPA-PSK TKIP	64文字
WPA2-PSK AES	64文字

「なし」を選択すると、IPアドレス設定画面が表示されます。

7 △/▽で「自動(DHCP)」または「指定」を選択し、ENTERを押す。

「自動(DHCP)」を選択すると、IPアドレスを自動で設定します。
「指定」を選択すると、IPアドレスを手動で設定できます。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを指定します。
DNSサーバー設定画面が表示されます。

8 △/▽で「自動」または「指定」を選択し、ENTERを押す。

「自動」を選択すると、DNSサーバーを自動で設定できます。
「指定」を選択すると、DNSサーバーを手動で設定できます。優先DNSサーバーと代替DNSサーバーを指定します。
設定確認画面が表示されます。

ご注意

- ステップ**7**でIPアドレスを「指定」に選択したとき、ステップ**8**でDNSサーバーは「指定」しか選択できません。

9 △/▽で「OK」を選択し、ENTERを押す。

ネットワーク設定が「アクセスポイント」に切り替わります。
本機は、自動的に再起動し、ワイヤレスLAN接続待機状態になります。

アクセスポイント接続ツールを使う

アクセスポイントを経由して本機とコンピュータをワイヤレス接続する場合、アクセスポイント接続ツールを使って、本機のネットワーク設定をすることができます。

1 **付属のACアダプターで、本機と壁のコンセントをつないでいることを確認する。**

2 **本機がスタンバイモードに入っていることを確認する。**

POWERランプが赤色で点灯しています。

3 **本機とコンピュータを付属のUSBケーブルでつなぐ。**

本機の表示窓に「USBケーブル接続中」と表示されます。

4 **コンピュータ画面で、[スタート]メニューから、[Sonyワイヤレスデジタルオーディオ]－[アクセスポイント接続ツール]の順にクリックする。**

アクセスポイント接続ツールが起動します。

5 **画面の指示に従って、操作する。**

注意事項をよくお読みください。

6 **コンピュータの画面の指示に従ってアクセスポイント接続ツールを閉じた後に、USBケーブルを抜く。**

本機が再起動します。

ご注意

- 本機とコンピュータをUSBケーブルでつないでいる間は、ACアダプターをはずさないでください。故障の原因になります。
- コンピュータに接続して使うときは、停電やACアダプターが抜けてしまうなど、不慮の事故に備えて内蔵電池を充分に充電しておくことをおすすめします。
- コンピュータと接続中に、コンピュータでシステムサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、システムハイバネーション（休止状態）のモードへ移行すると、不具合が生じることがあります。自動的に移行する設定は避けてください。
- USBハブを介して、本機とコンピュータを接続しないでください。

ワイヤレスアダプタ接続でのプロキシ設定をする

ワイヤレスアダプタ接続でのプロキシ設定は、アクセスポイント接続と共通して設定するため、アクセスポイント接続ツールを使って設定します。

アクセスポイント接続ツールがコンピュータにインストールされているとき

上記ステップ6のあと、「ワイヤレスアダプタ接続にする」（58ページ）を設定してください。

アクセスポイント接続ツールがコンピュータにインストールされていないとき

ワイヤレスアダプタを使ってコンピュータと接続しているときは、コンピュータにアクセスポイント接続ツールがインストールされていないことがあります。その場合、付属のCD-ROMからインストールしてください。

1 コンピュータで起動中の他のプログラムはすべて終了する。

2 コンピュータのCDドライブに付属のCD-ROMを入れる。

3 「製品使用許諾契約」を注意深く読み、[はい]をクリックする。

4 「使用するジュークボックス」と「コンピュータとの接続方法」を選択する。

「コンピュータとの接続方法」では、必ず「お持ちのアクセスポイントを使用する」のチェックボックスをクリックして、チェック(✓)をつけてください。

5 [次へ>]をクリックする。

6 画面の指示に従って、操作する。

注意事項をよくお読みください。
アクセスポイント接続ツールが起動したら、ネットワーク設定を以下のとおり設定してください。
ネットワーク名(SSID):任意の文字を入力する。
セキュリティの種類:「なし」を選ぶ。
IPアドレス設定:「IPアドレスを自動的に取得する」を選ぶ。
DNSサーバー設定:「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選ぶ。
プロキシ設定:お使いのネットワーク環境に合わせて設定する。

7 コンピュータの画面の指示に従ってアクセスポイント接続ツールを閉じたあとに、USBケーブルを抜く。

本機が再起動します。

8 ワイヤレスLANの設定を「ワイヤレスアダプタ」に設定する(58ページ)。

ワイヤレスアダプタマネージャーを使う

付属のワイヤレスアダプタで本機とコンピュータをワイヤレス接続する場合、ワイヤレスアダプタマネージャーを使って、ワイヤレスアダプタ接続の設定ができます。

ワイヤレスアダプタマネージャーを起動する

1 コンピュータのUSB端子に、ワイヤレスアダプタを差し込む。

2 デスクトップ上の (Wireless AdapterManager)をダブルクリックする。

ワイヤレスアダプタマネージャーが起動し、メイン画面が表示されます。メイン画面には、ワイヤレスデジタルオーディオの一覧が表示されます。

ワイヤレスデジタルオーディオ一覧

アイコン	状態	
*	接続中	すでに登録済みで、電源が入っているので接続しているワイヤレスデジタルオーディオ
(なし)	発見できません	すでに登録済みだが、電源が入っていないため接続できないワイヤレスデジタルオーディオ
NEW	未登録	電源は入っているが、登録をしていないので接続できないワイヤレスデジタルオーディオ

* 接続しているネットワークの信号の強さを表しています。アンテナの周りに表示されている波紋の数が多いほど、信号が強いことを表します。

ご注意

- ワイヤレスデジタルオーディオが、以下の場合は、一覧には表示されません。
  - 登録をしておらず、電源が入っていない。
  - 電源は入っているが、別のワイヤレスアダプタと接続中である。
  - 電源は入っているが、設定の「ネットワーク設定」が「アクセスポイント」になっている。
- 「接続中」状態のワイヤレスデジタルオーディオは、共通のワイヤレスLANを使っているため、その中で最も強い信号の強さに合わせてアンテナのアイコンが表示されます。

ワイヤレスデジタルオーディオの一覧を更新する

1 コンピュータの画面で、[更新]をクリックする。

ワイヤレスデジタルオーディオの一覧が更新されます。
更新が完了すると、最新のワイヤレスデジタルオーディオの一覧が表示されます。

ワイヤレスデジタルオーディオを登録する

「未登録」状態のワイヤレスデジタルオーディオを、最大5台まで登録できます。
登録すると、そのワイヤレスデジタルオーディオのネットワーク設定が行われます。

1 登録したいワイヤレスデジタルオーディオのPCボタンを押す。

ワイヤレスデジタルオーディオがPCミュージックファンクションで起動します。
表示窓には、12桁の英数字が表示されます。

2 コンピュータの画面で、[更新]をクリックする。

3 **ワイヤレスデジタルオーディオ一覧で、登録したいワイヤレスデジタルオーディオをクリックする。**

クリックしたワイヤレスデジタルオーディオにカーソルが表示されます。

4 **[登録]をクリックする。**

選択したワイヤレスデジタルオーディオのネットワーク設定が始まります。
設定が完了すると、登録したワイヤレスデジタルオーディオの状態が、「未登録」から「接続中」に変わります。

ちょっと一言

- 登録したいワイヤレスデジタルオーディオが一覧に表示されない場合は、そのワイヤレスデジタルオーディオで、設定の「ネットワーク設定」－「ワイヤレスアダプタ」でワイヤレスアダプタ接続の初期化を実行し、「ネットワーク設定」を「ワイヤレスアダプタ」に切り替えたあとに（58ページ）、ステップ2からやり直してください。

ワイヤレスデジタルオーディオの登録をリセットする

ワイヤレスデジタルオーディオの登録をリセットすると、登録済みのワイヤレスデジタルオーディオをすべて解除できます。

1 **登録されているすべてのワイヤレスデジタルオーディオの⏻（POWER）ボタンを押し、スタンバイモードにする。**

2 **コンピュータの画面で、[登録リセット]をクリックする。**

ワイヤレスデジタルオーディオの登録がすべて解除されます。
登録リセット後は、最新のワイヤレスデジタルオーディオ一覧が表示されます。

インターネット接続を有効にする

ワイヤレスアダプタのインターネット接続を設定します。インターネット接続に使用するネットワークデバイスを設定し、インターネット接続が有効になるよう設定すると、登録されているワイヤレスレスデジタルオーディオで、ウェブラジオファンクションを利用できるようになります。

ご注意

- ワイヤレスデジタルオーディオが登録されていない場合、インターネット接続を設定できません。
- コンピュータがインターネットに接続していない場合、以下の設定にかかわらず、「ウェブラジオの接続が無効になっています。」と表示され、ウェブラジオファンクションを利用できません。

1 **コンピュータの画面で、[インターネット接続]をクリックする。**

インターネット接続設定画面が表示されます。

2 **「インターネット接続を有効にする」を選択し、ネットワークデバイスを選択する。**

3 **[OK]をクリックする。**

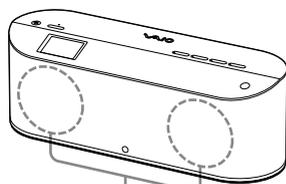
インターネット接続を有効にする設定が始まります。
設定が完了すると、「ウェブラジオの接続が有効になっています。」と表示されます。

インターネット接続を無効にするには

上記ステップ2で「インターネット接続を無効にする」を選択し、[OK]をクリックします。
設定が完了すると、「ウェブラジオの接続が無効になっています。」と表示されます。

使用上のご注意

落とさないでください

- 本機に強いショックを与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本機前面のスピーカー部分には、強い力を加えないでください。

置き場所について

次のような場所に置かないでください。

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高いところ。（本機は5℃～35℃の範囲でご使用ください。）
- 車のダッシュボードの上や、直射日光下で窓を閉め切った自動車内。（特に夏季）
- 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
- 電子レンジのそば。
- ほこりの多いところ。
- ぐらついた台の上や傾いたところ。
- 振動の多いところ。
- 風呂場など、湿気の多いところ。
- 金属板やコンクリートなど電波を遮へいする障害物があるところ。
- 換気が悪く、空気が澱んでいるところ。
- 近くにコードレス電話（親機、子機）があるところ。

結露について

寒いときに暖房をつけた直後など、本機の内部の部品に露（水滴）がつき、正しく動作しないことがあります。約2、3時間放置してください。正常に動作するようになります。

電池を廃棄するときのご注意

環境保護のため、内蔵の電池（充電式電池）を取り出してください。

⚠警告

本機を廃棄するとき以外は、絶対にネジを外さないでください。

⚠注意

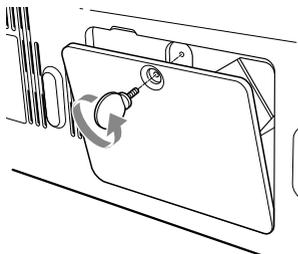
- 内蔵充電式電池は、完全に消耗した状態を確認してから取り出してください。
- 内部の金属部分（取り付け版など）の取り扱いには充分ご注意ください。

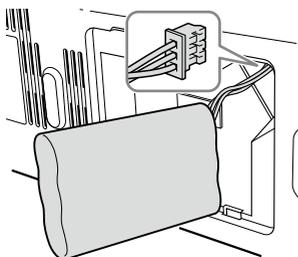
リチウムイオン電池の廃棄について

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCのホームページを参照してください。

URL： http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

内蔵電池を取り出すには

1 **底面にあるビスをコインなどではずし、ふたを取りはずす。**

2 **中に入っている電池を取り出し、接続されているコードを引き抜く。**

本機について

- 本機内蔵のフラッシュメモリーは、Windowsのシステム上から外部記憶装置としては認識されません。
- インターネットなど、家庭外のネットワークに接続した状態で他の機器からのアクセスを認める設定をした場合、ご使用の接続の構成によっては、お客様が望んでいない第三者による不正アクセスにより、データ改編などの損害を被る可能性がありますので、次のいずれかを行っていただくことが必要です。
  – ルーターを使用し適切な設定を行って設定する。
  – 事前にアクセスする機器の登録を行う。
- 他人の著作物を許可無く特定多数または不特定多数が利用できる家庭外ネットワークに送信すること、また他人の著作物を許可なく特定多数または不特定多数からアクセスできる状態におくことは、著作権法上禁止されていますのでご注意ください。
- DLNA対応について：
  この商品はDLNAガイドラインv1.0に基づいて設計されています。正式なDLNA認証に向けて商品化されたもので、相互接続性を維持するために、商品のアップグレードを行う可能性があります。

お手入れ

柔らかい布でからぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤液でしめらせた布で拭いてください(ただし端子部分には水分が触れないようにお気を付けください)。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めるので使わないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも具合の悪いときはVAIOカスタマーリンクへご連絡ください。
詳しくは、本書に記載されている「お問い合わせ先について」(70ページ)をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、故障の原因が不当な分解や改造であると判明した場合は、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社では本機の修理は引取修理を行っています。
当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは、VAIOカスタマーリンクへご連絡ください。

修理用補修部品について

ソニーでは、長期にわたる修理部品のご提供、ならびに環境保護などのため、修理サービスご提供の際に、再生部品を使用することがあります。
また原則として交換した部品は、上記の理由によりソニーの所有物として回収させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。

部品の保有期間について

当社では本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

製造番号（SERIAL NO.）は本機底面のラベルに記載されています。

- **型名：**VGF-WA1
- **製造番号：**
- **故障の状態：**できるだけ詳しく
- **購入年月日：**

主な仕様

インターフェース

ワイヤレスLAN：　IEEE802.11b/g
（WEP64bit/WEP128bit/
WPA-PSK TKIP/WPA2-PSK
AES）
無線周波数 2.4GHz

オーディオ出力：　🎧（ヘッドホン）端子：
ステレオミニジャック
LINE OUT端子：
RCAピンジャック
（ステレオ）
規定出力レベル：
500 mV（10kΩ）
OPTICAL OUT端子

オーディオ入力：　AUX端子：
ステレオミニジャック
規定入力レベル：
194 mV（入力感度：標準）
375 mV（入力感度：中）
500 mV（入力感度：低）

USB端子：　USB-B端子

実用最大出力

スピーカー：8W＋8W（ACアダプター使用時）
4W＋4W（内蔵電池使用時）
ヘッドホン：30mW＋30mW（共通）（16Ω）

電源

ACアダプター

入力：AC100-240V 1.5A 50/60Hz
（付属の電源コードはAC100V用です）
出力：DC16V 4A

内蔵電池

出力電圧：DC 11.1V（定格）

動作温度

5℃～35℃（温度勾配10℃／時以下）

動作湿度

20%～80%（結露のないこと）
ただし35℃における湿度は65%以下
（湿球温度29℃以下）

保存温度

-20℃～60℃（温度勾配10℃／時以下）

保存湿度

10%～90%（結露のないこと）
ただし60℃における湿度は20%以下
（湿球温度35℃以下）

外形寸法

約380（幅）×138.5（高さ）×116（奥行き）mm

質量

約2.5kg（内蔵電池含む）

対象機種

- Windows XP SP2搭載コンピュータ
- Windows Vista搭載コンピュータ
- DLNAガイドライン対応機器（DLNA HNv1準拠）

付属品

17ページをご覧ください。

DLNA対応

ホームネットワーク内におけるDLNA対応機器の音楽を楽しむことが可能になります。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

再生とダウンロードのファイル形式

サーバーがVAIO Media Integrated Serverのとき

元のコンテンツ				再生時／ダウンロード時のファイル形式	
ファイル形式	音楽配信サービスなどによる著作権保護		ビットレート／サンプリング周波数	本機での再生時	内蔵メモリーへダウンロード時
ATRAC3	あり		−	再生できない	−
	なし	SonicStageで「著作権保護あり」で録音	66/105/132 kbps	ATRAC3	ATRAC3
		SonicStageで「著作権保護なし」で録音	−	リニアPCM	ATRAC3（132kbps）にエンコード
ATRAC3plus	あり		−	再生できない	−
	なし	SonicStageで「著作権保護あり」で録音	48/64/256kbps	ATRAC3plus	ATRAC3plus
			48/64/256kbps以外のビットレート	リニアPCM	ATRAC3（132kbps）にエンコード
		SonicStageで「著作権保護なし」で録音	−	リニアPCM	ATRAC3（132kbps）にエンコード
MP3	なし		32kHz未満	リニアPCM	ATRAC3（132kbps）にエンコード
			32kHz以上	MP3	MP3
WMA	あり		−	再生できない	−
	なし		−	WMA	WMA
AAC	あり		−	再生できない	−
	なし		−	リニアPCM	ATRAC3（132kbps）にエンコード
WAV	なし		−	リニアPCM	ATRAC3（132kbps）にエンコード
リニアPCM	なし		−	リニアPCM	ATRAC3（132kbps）にエンコード

サーバーがWindows Media ConnectまたはWindows Media Playerのとき

元のコンテンツ			再生時／ダウンロード時のファイル形式	
ファイル形式	音楽配信サービスなどによる著作権保護	ビットレート／サンプリング周波数	本機での再生時	内蔵メモリーへダウンロード時
ATRAC3	あり／なし	−	再生できない	−
ATRAC3plus	あり／なし	−	再生できない	−
MP3	なし	−	MP3	MP3
WMA	あり	−	WMA	ダウンロードできない
	なし	−	WMA	WMA
AAC	あり／なし	−	再生できない	−
WAV	なし	−	WAV	ATRAC3（132kbps）にエンコード
リニアPCM	なし	−	リニアPCM	ATRAC3（132kbps）にエンコード

ご注意

- ATRAC3（132kbps）にエンコードできるファイルは、以下の条件をすべて満たしているファイルだけです。
  - 1サンプルあたりのビット数が16ビット
  - 2チャンネルステレオ
  - サンプリング周波数44.1kHz

お問い合わせ先について

はじめに「困ったときは」(71ページ)をご確認ください。それでも具合が悪いときは、以下のお問い合せ先にご相談ください。

VAIOカスタマーリンク

電話番号　(0466) 30-3000

受付時間平日　10時～21時

土、日、祝日　10時～17時

(年末年始は除く)

一般的にお電話は午前中より午後の方がつながりやすくなっております。
お電話は音声認識を用いた自動音声のアナウンスに従って、ごお好みのメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。

お電話の前に以下の内容をご用意ください。

① お客様のVAIOカスタマー ID (ご登録いただいている場合)
② カスタマー登録していただいたときの**電話番号**(ご登録いただいている場合)
③ 本機の**型名**：VGF-WA1
④ 本機の**製造番号**(本機底面に記載されています)

ちょっと一言

発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

⑤ 本機を接続している**コンピュータ本体の型名**(コンピュータの保証書またはカスタマー登録カードに記載されています)
⑥ 表示された**エラーメッセージ、本機前面のランプの表示状態(色、点滅状態など)**
⑦ トラブルが発生する前または**直前に行った操作**
⑧ トラブルがどのくらいの**頻度**で再現するか
⑨ その他お気づきの点
⑩ 筆記用具(修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です)

トラブルシューティング

本機をご使用中にトラブルが発生した場合は、サービス窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れにしたがってチェックしてください。
メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

1 この「トラブルシューティング」をチェックし、該当する項目を調べる。

本書の手順の中にもさまざまな情報があります。該当する項目を調べてください。

2 VAIOカスタマーリンクのホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)で調べる。

最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。

3 それでもトラブルが解決しないときは、VAIOカスタマーリンク(70ページ)またはお買い上げ店に相談する。

電源を入れる

症状	原因/処置
電源が入らない	➔ ACアダプターを本機とコンセントにしっかり差し込む(27ページ)。 ➔ BATTERYスイッチがONになっているかを確認する。 ➔ 内蔵電池が消耗しています(「電池残量がありません」が表示される、または何も表示されない)。コンセントにつなぐ(27ページ)。 ➔ 内部システムが誤動作しています。または、使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けています。ACアダプターをはずし、BATTERYスイッチをOFFにする。約30秒間経過してから、ACアダプターをつなぐ。
電源が切れない	➔ 内部システムが誤動作しています。または、使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けています。ACアダプターをはずし、BATTERYスイッチをOFFにする。約30秒間経過してから、ACアダプターをつなぐ。 ➔ 本機は電源を切るとスタンバイモード(POWERランプが赤色に点灯)になります。完全に電源を切りたい場合は、ACアダプターをはずし、BATTERYスイッチをOFFにする。

次のページにつづく

症状	原因/処置
「DC-INの電圧が高過ぎます。指定のACアダプターを接続してください」と表示され、スタンバイモードに入る	➔ 指定以外のACアダプターを使用しているため電源電圧が高くなっています。指定のACアダプターを使う。
• 「機器内温度が高過ぎます」と表示され、スタンバイモードに入る • スタンバイモードで画面には何も表示されず、POWERランプが点滅している	➔ 大音量で再生を続けていると、機器内の温度が高くなることがあります。温度が下がるまでしばらく待ってから電源を入れる。

充電する

症状	原因/処置
• 充電できない • 充分に充電できない	➔ BATTERYスイッチがONになっているかを確認する。 ➔ ACアダプターを正しく接続していません。正しく接続する。 ➔ 内蔵電池が消耗しきっています。充電して、約1分経過しても充電が始まらないときは、もう一度ACアダプターをつなぎ直す。 ➔ 充電している場所の温度が低すぎるか高すぎます（「+5℃～+35℃内で充電してください」が表示される）。充電は、+5℃～+35℃の場所で行う。
充分に充電しても通常の半分程度しか使えない	➔ 内蔵電池が寿命のため容量が低下しています。お買い上げ店またはサービス窓口へご相談ください。
「内部システムに異常があります　BATTERYスイッチをOFFにしてください」と表示されて充電できない	➔ 充電システムに異常があるため、内蔵電池を使用できません。BATTERYスイッチをOFFにして、内蔵電池の使用を中止し、お買い上げ店またはサービス窓口へご相談ください。

コンピュータに保存している音楽を聞く（PCミュージックファンクション）

症状	原因/処置
• ネットワークに接続できない • 「サーバーに接続できません」と表示される • 「サーバーとの通信が切断されました」と表示される • 「サーバーとの通信が切断されたため一覧情報取得を中止しました」と表示される	➔ アクセスポイントの電源が入っているかを確認する。 ➔ コンピュータの電源が入っているかを確認する。 ➔ ワイヤレスアダプタをコンピュータのUSB端子にしっかり差し込んでいるかを確認する。 ➔ ワイヤレスアダプタマネージャーで登録リセットを実行した場合は、コンピュータを接続できなくなります。ワイヤレスアダプタマネージャーで本機の登録をやり直す（62ページ）。 ➔ 本機のネットワーク設定が正しくありません。設定の「機器情報」ー「ネットワーク情報」を確認する。 ➔ コンピュータが不安定になっている可能性があります。コンピュータを再起動する。 ➔ コンピュータを正しく準備できているか、以下の項目を確認する。 　• サーバーが起動していること 　• サーバーが「開始」の状態になっていること 　• 本機が登録されていること ➔ コンピュータのインターネット接続ファイヤーウォール（ICF）機能が有効になっている環境では、コンピュータと接続できない場合があります。ファイヤーウォールの設定を変更すると接続できる場合があります*。 ➔ コンピュータを再セットアップ（リカバリ）しました。接続と準備をやり直す（25ページ）。
コンピュータの電源が入らない（「スタンバイ」または「休止」状態から起動できない）	➔ ワイヤレスアダプタを使ってコンピュータと接続している場合は、本機の電源に連動させてコンピュータを起動できません。 ➔ コンピュータの設定が正しく行われていません。コンピュータの設定を正しく行う。 ➔ 本機の電源に連動させて起動できないコンピュータがあります（51ページ）。

* ファイヤーウォールの設定を変更するときは、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

症状	原因/処置
サーバー選択でコンピュータが表示されない	➔ コンピュータの電源を入れる前に本機の電源を入れました。サーバー選択画面で「最新情報に更新」を選び、サーバーの一覧を更新する（38ページ）。 ➔ アクセスポイントの電源が入っているかを確認する。 ➔ コンピュータの電源が入っているかを確認する。 ➔ ワイヤレスアダプタをコンピュータのUSB端子にしっかり差し込んでいるかを確認する。 ➔ コンピュータを正しく準備できているか、以下の項目を確認する。 • サーバーが起動していること • サーバーが「開始」の状態になっていること • 本機が登録されていること ➔ ワイヤレスアダプタマネージャーで登録リセットを実行した場合は、コンピュータを接続できなくなります。ワイヤレスアダプタマネージャーで本機の登録をやり直す（62ページ）。
通常の再生ができない	➔ リピート（繰り返し）モードや、シャッフル（ランダム再生）モードが設定されています。設定の「再生モード」を「通常」に変更する（40ページ）。
再生中に音が途切れる	➔ ワイヤレスネットワークの帯域が不足している可能性があります。本機とアクセスポイントまたはワイヤレスアダプタをできるだけ短い距離で、間に障害物が入らないように配置する。 ➔ 接続しているコンピュータへの負荷が大きくなっている可能性があります。ウィルスチェックソフトが起動しているときはコンピュータの負荷が大きくなるため、ウィルスチェックソフトを起動していない状態で接続する。

症状	原因/処置
早送り／早戻しができない	➔ システム上の制約で、下記のようなコンテンツは早送り／早戻しができません。 • 残りの再生時間が不明な曲 • 著作権保護されたWMA形式のファイル 早送り／早戻しができないコンテンツを再生中、再生画面が経過時間表示のときプログレスバーが表示されません。
ブラウズモードで、「このファイルは対応フォーマットでないため再生できません」と表示される	➔ オーディオではないファイルは再生できません。
ブラウズモードで「この曲は再生できません」と表示される	➔ 以下の曲は再生できません。 – 再生制限があり、その条件が満たされていない曲 – 権利情報が不正になっている曲 – ホームネットワークストリーミングが許可されていない、インターネット上の音楽配信サービスで購入した曲
ブラウズモードで「再生できる曲がありません」と表示される	➔ 選択したフォルダの下の階層に曲もフォルダもない場合は、そのフォルダを展開して表示することはできません。
ATRAC3形式またはATRAC3plus形式の曲が再生できない	➔ Windows Media ConnectまたはWindows Media Player 11をサーバーにして接続しています。VAIO Media Integrated Serverをサーバーにして接続する（69ページ）。
著作権保護されたWMA形式の曲が再生できない	➔ VAIO Media Integrated Serverをサーバーにして接続しています。Windows Media ConnectまたはWindows Media Player 11をサーバーにして接続する（69ページ）。

次のページにつづく

ウェブラジオを聞く（ウェブラジオファンクション）

症状	原因/処置
• インターネットに接続できない •「サービス事業者に接続できません」と表示される •「ラジオ局に接続できません」と表示される •「サービス事業者との通信が切断されたため一覧情報取得を中止しました」と表示される	➔ アクセスポイントの電源が入っているかを確認する。 ➔ ワイヤレスアダプタを使ってコンピュータと接続している場合は、下記の項目を確認する。 • コンピュータの電源が入っていること • ワイヤレスアダプタをコンピュータのUSB端子にしっかり差し込んでいること • ワイヤレスアダプタのインターネット接続が有効になっていること（63ページ） • プロキシ設定が正しく設定されていること（57ページ） • 設定したネットワークデバイスでインターネットに接続していること（63ページ） ➔ コンピュータが不安定になっている可能性があります。コンピュータを再起動する。 ➔ コンピュータのインターネット接続ファイヤーウォール（ICF）機能が有効になっている環境では、コンピュータと接続できない場合があります。ファイヤーウォールの設定を変更すると接続できる場合があります*。 ➔ コンピュータを再セットアップ（リカバリ）しました。接続と準備をやり直す（25ページ）。 ➔ 本機のネットワーク設定が正しくありません。設定の「機器情報」—「ネットワーク情報」を確認する。 ➔ ブロードバンドルーターやモデムの電源が入っているかを確認する。 ➔ LANケーブルがしっかりつながっているかを確認する。 ➔ 同時に1つの端末しかインターネットに接続できない契約の場合は、すでに別の端末を接続しているときは接続できません。ご利用の回線事業者またはプロバイダに問い合わせる。
再生中に音が途切れる	➔ ワイヤレスネットワークの帯域が不足している可能性があります。本機とアクセスポイントまたはワイヤレスアダプタをできるだけ短い距離で、間に障害物が入らないように配置する。 ➔ 接続しているコンピュータへの負荷が大きくなっている可能性があります。ウィルスチェックソフトが起動しているときはコンピュータの負荷が大きくなるため、ウィルスチェックソフトを起動していない状態で接続する。
コンピュータで編集した内容と異なるラジオ局の一覧が表示される	➔ 時計設定が初期状態のまま、または正しい現在時刻とずれています。設定の「各種設定」—「時計」で、正しい現在時刻を設定する（56ページ）。

* ファイヤーウォールの設定を変更するときは、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

外部機器の音楽を聞く(外部機器入力ファンクション)

症状	原因/処置
外部機器入力ファンクションのとき音が大きい、または割れる	➔ AUX端子につないだ機器側の出力レベルが大きいです。設定の「各種設定」—「外部機器入力感度」を調節する(55ページ)。

内蔵メモリーに保存している音楽を聞く(内蔵メモリーファンクション)

症状	原因/処置
通常の再生ができない	➔ リピート(繰り返し)モードや、シャッフル(ランダム再生)モードが設定されています。設定の「再生モード」を「通常」に変更する(45ページ)。 ➔ 内蔵メモリー内にサンプル楽曲しかない場合は、内蔵メモリーファンクション時にデモンストレーションモードに入るので、通常の再生ができません。PCミュージックファンクションで再生中の音楽を内蔵メモリーにダウンロードすると、デモンストレーションモードに入らなくなります。
「再生できる曲がありません」と表示される	➔ 内蔵メモリー内に曲がありません。
(TOPやBACKを押しても)ブラウズモードに入れない	➔ 内蔵メモリー内に曲がないときは、ブラウズモードには入れません。 ➔ 内蔵メモリーに異常があるときは、ブラウズモードには入れません。
「この曲はダウンロードできません」と表示される	➔ システム上の制約でダウンロードできない曲があります。ダウンロード可能なファイル形式(69ページ)の音楽ファイルをダウンロードする。
「内蔵メモリーの空き容量が足りません」と表示される	➔ 内蔵メモリーの空き容量がないときは、ダウンロードできません。内蔵メモリー内の不要な曲を削除して(44ページ)、空き容量を増やしてからダウンロードする。
• 「内蔵メモリーに異常があります」と表示される • 「内蔵メモリーに異常があるためダウンロードできません」と表示される	➔ 内蔵メモリーに異常があるため、内蔵メモリーが正常に動作していません。内蔵メモリーに異常があるときは、曲の再生やダウンロードができません。内蔵メモリーを初期化する(44ページ)。

次のページにつづく

症状	原因/処置
「サーバーとの通信が切断されたためダウンロードを中止しました」と表示される	➔ アクセスポイントの電源が入っているかを確認する。 ➔ コンピュータの電源が入っているかを確認する。 ➔ ワイヤレスアダプタをコンピュータのUSB端子にしっかり差し込んでいるかを確認する。 ➔ コンピュータを正しく準備できているか、以下の項目を確認する。 • サーバーが起動していること • サーバーが「開始」の状態になっていること • 本機が登録されていること

タイマー設定

症状	原因/処置
「先に時計を設定してください」と表示される	➔ 時計設定が工場出荷時状態のとき、オンタイマーを設定できません。オンタイマー設定の前に、時計設定をする（56ページ）。
「設定したい曜日を選択してください」と表示される	➔ 「オンタイマー曜日設定」では、いずれかの曜日にチェックがないと、「OK」を選択できません。いずれかの曜日にチェックをつけて、「OK」を選択する。
「タイマー再生させたいコンテンツを再生中に設定をしてください」と表示される	➔ 現在再生している曲がないときは、「オンタイマー再生コンテンツ」で「はい」を選択できません。曲を再生中にオンタイマーを設定する。 ➔ 外部機器入力ファンクションのときは、「オンタイマー再生コンテンツ」で「はい」を選択できません。

設定を使う

症状	原因/処置
「削除対象サーバーがありません」と表示される	➔ 削除対象サーバーが1つもないときは、「サーバー削除」を選択できません。
「ヘッドフォンプラグを挿入しているときは設定できません」と表示される	➔ ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれた状態では、設定の「サウンド」で以下を設定できません。 • 「バスブースト」 • 「エフェクト」の「6バンドイコライザー」 • 「エフェクト」の「VPTワイドステレオ」 • 「エフェクト」の「D-リニアフェーズ」

その他

症状	原因/処置
• 操作を受けつけない • 正しく動作しない	➔ 内蔵電池が消耗しています（「電池残量がありません」が表示される、または何も表示されない）。コンセントにつなぐ（27ページ）。 ➔ 内部システムが誤動作しています。または、使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けています。ACアダプターをはずし、BATTERYスイッチをOFFにする。約30秒間経過してから、ACアダプターをつなぐ。 ➔ 本機がコンピュータとUSBケーブルで接続されています。USBケーブル接続中は本体およびリモコンのボタンは無効です。USBケーブルを抜く。
リモコンで操作できない	➔ リモコンの電池が正しく入っていません。リモコンの電池を正しく入れる（24ページ）。
スピーカーから音が出ない	➔ 設定の「各種設定」ー「出力設定」が「ライン／光デジタル」になっています。「出力設定」を「スピーカー」に変更する（55ページ）。 ➔ ヘッドホンが接続されています。ヘッドホンをヘッドホン端子から抜く。
ヘッドホンから音が出ない	➔ ヘッドホンがしっかり差し込まれていません。本体にヘッドホンプラグをしっかり差し込む。
LINE OUT端子/OPTICAL OUT端子に接続している外部機器から音が出ない	➔ 設定の「各種設定」ー「出力設定」が「スピーカー」になっています。「出力設定」を「ライン／光デジタル」に変更する（55ページ）。 ➔ ヘッドホンが接続されています。ヘッドホンをヘッドホン端子から抜く。
「出力設定がライン／光デジタルのときは音量を調節できません」と表示される	➔ 設定の「各種設定」ー「出力設定」が「ライン／光デジタル」になっているときは、音量を調整することができません。
本体の表示窓や操作パネルのバックライトが自動で点灯しない	➔ スタンバイモードのときは、センサーが反応しないため、バックライトは自動で点灯しません。 ➔ 周囲と人体との温度差があまりないと、本機前面に内蔵されているセンサーが反応しにくくなるため、バックライトが自動で点灯しません。ライトボタンを押す。
曲名やラジオ局名などのタイトル表示が途中から表示されない	➔ システム上の制約で、表示できる文字数は、1タイトルにつき約120文字（PCミュージック／ウェブラジオファンクションのとき）、または約60文字（内蔵メモリーファンクションのとき）です。